	事務事業名	青年活動パワーアップ事業	担业	課 名	生涯学習・スポーツ課
_	予算事業名	青年活動パワーアップ事業	当部	係 名	生涯学習係
1	事業区分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
基本項	事業期間	開始年度 平成23年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平頂	総目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
自	台 以	10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
	計 施 策 名	31 生涯学習の推進	目	目	社会教育総務費
	画 基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり	市月	民協働の状況	協働している

新川学びの森天神山交流館で青年向けに3つの教室(抹茶・料理・着物着付け)と1つのサークル(ストリートダ 事業概要 ンス)を実施している。 また、市内若者による魚津市の活性化を目的とした事業を団体(うおづ屋・実行委員会魚津音組)へ委託している。 事 対 象 市内在住または市内へ通勤している青年(主に18歳~35歳) 手 段 青年教室の実施。青年団体によるイベントの実施・参加を通して交流する。 (活動指標) 青年教室に参加することにより、余暇を有効に活用することができる。また、イベントを企画・運営することにより、青年同士の交流が深まり、若者が元気になり、魚津市が活性化する。 (成果指標)

	指標名	単位	24年	F. 度		26年度		
	1日 保 石	毕业	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活 ① 青年教室・サークル数	箇所	6	5	5	4	80.0%	4
3	期 ② パワーアップ塾(うおづ屋)事業数	口	2	2	2	1	50.0%	2
揰	標 ③							
倧	成 ① 学びの森青年会登録者数	人	50	99	110	69	62. 7%	100
	* ② うおづ屋の交流団体数	口	1	1	3	5	166. 7%	5
	標 ③					-		-

	E //	光什	24年	F.度		25年度		26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	130, 000	19, 000	90, 000	61, 907	225. 8%	90, 000
3	②委託料	円	500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	0.0%	500, 000
F	③工事請負費	円						
P	④負担金補助及び交付金	円						
4	尺 ⑤その他	円	894, 000	495, 000	894, 000	447, 190	-9.7%	721, 000
<u> </u>	支出合計(A)	円	1, 524, 000	1, 014, 000	1, 484, 000	1, 009, 097	-0.5%	1, 311, 000
ス	①国庫支出金	円						
下	2県支出金	円						
	③地方債	円						
	N ④その他(使用料、雑入等)	円						
TA E	₹ ⑤一般財源	円	1, 524, 000	1, 014, 000	1, 484, 000	1, 009, 097	-0.5%	1, 311, 000
	収入合計	円	1, 524, 000	1, 014, 000	1, 484, 000	1, 009, 097	-0.5%	1, 311, 000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	2年間所要時間	時間	400	400	400	400	0.0%	400
多	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	0.0%	1, 680, 000
糸	費用(A+B)	円	3, 204, 000	2, 694, 000	3, 164, 000	2, 689, 097	-0. 2%	2, 991, 000

- 平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容 〇青年教室での練習の成果を披露するため、生涯学習フェスティバルに参加した。【開催日】3月2日【場所】学びの森交流館 している。 「開催日」 3月2日 「場所」子のの未交流館 のうおづ屋のメンバー募集チラシを作成し、メンバーの増員に努めた。また、各団体主催事業には、協力しイベントを盛り上げた。 取・魚津祭組主催の「よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり」では魚津音組がイベントの一部としてまちなか映画祭を開催し、うおづ屋は当日スッタッフとして協力した。 【開催日】 5月18日 【場所】魚津商工会議所前通り ・魚津音組主催の「USIC FES!!2013」ではうおづ屋のメンバーがスタッフとして協力した。 【開催日】 9月16日(月) 9:00~17:25 00 【場所】新川文化ホール【参加者数】 2,060人 ・うおづ屋主催の「ミラナたんモザザイクアートプロジェクト」の写真応募では魚津音組、魚津高校写真部、新川高校報道記録部が写真
- - 提供に協力した。【写真募集期間】9月31日~10月31日【参加者数】個人127名・5団体【応募枚数】2001枚

	評価の	ク視	点	H24評価	H25評価	評価項目					内	容			
						自治体関与の妥当性	√ 1	妥当である	る 🗆	2	検討の余地	1あり	□ 3	妥当:	でない
	妥 当	当	性		В	目的の妥当性	1	妥当である	る <u> </u>	2	検討の余地	1あり	□ 3	妥当:	でない
						対象の妥当性	√ 1	妥当である	る 🗆	2	検討の余地	はあり	□ 3	妥当:	でない
						目標達成度	1	高い	~	2	目標どおり		□ 3	低い	・未実施
	有刻	功	性		В	類似事業の有無	√ 1	なし		2	検討の余地	はあり	□ 3	あり	
						上位施策への貢献度	1	高い	~	2	普通		□ 3	低い	
6						コスト効率	<u> </u>	高い		2	普通		□ 3	低い	
評価	効 3	枢	性		С	実施主体の適正化	□ 1	適正である		2	改善の余地		□ 3		でない
価						負担割合の適正化	1	適正である	გ ☑	2	改善の余地	1あり	□ 3	適正	でない
	1次	評値	H		В	事業の進め方・内容	学につい.	て改善の	2次評価	(III	不要				
	(課長	総招	(i)		Ь	余地あり			乙扒叶	ІЩІ	1)女				
	後二言	尺		•		=			評						
	後の方針)(課題及び今	#				「求められている中で			価						
	方思 5	Щ ; -	動力	が始まったこ	とは評価され	しることであり、さら	らに幅広	い団体等	結						
	針びが	阿田	ع ح	の連携により	、活動の活性	化を図る必要がある	5.		稲						
	~ 今 5	果							果						

	事務事業名	生涯学習振興事業	担业	課 名	生涯学習・スポーツ課
_	予算事業名	生涯学習振興事業	当部	係 名	生涯学習係
1基本項目	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
基本	事業期間	開始年度 昭和45年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平頂	総目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
目	合 政 策 名	10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
•	計 施 策 名	31 生涯学習の推進	目		社会教育総務費
	画 基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり	市国	民協働の状況	協働になじまない

事業概要 市の社会教育全般について助言や意見を受けるため、社会教育委員を設置する。社会教育委員は、東海北陸社会教育研究大会などへの参加を通じて社会教育の現状や動向について研修し、時代にあった社会教育事業の実施につなげていく。

対象 社会教育委員

(活動指標) 社会教育委員会議の開催及び社会教育研究大会(東海北陸ブロック)への参加

意図 (成果指標) 社会教育委員からの事業への意見や提言を受け、事業に反映させていく

		指標名	単位	24年	F度		25年度		26年度
		****	半世	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 社会教育委員研修回数	口	3	2	3	2	66. 7%	3
3	期 指	2							
指揮	標	3							
憬	成田	① 社会教育委員からの提言数 (会議開催数)	件	2	1	2	1	50.0%	2
	果指	2							
	標	3							

		区分	単位	24年	三度		25年度		26年度
			中亚	予算現額	決算額	予算現額	0 151 151	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円	403, 000	257, 210	413, 000	252, 031	-2.0%	428, 000
	支	②委託料	円						
	出	③工事請負費	円						
	内	④負担金補助及び交付金	円	33, 000	33, 000	10, 000	10, 000	-69. 7%	30, 000
4	訳	⑤その他	円	152, 000	38, 220	253, 000	161, 000	321. 2%	180, 000
=		支出合計 (A)	円	588, 000	328, 430	676, 000	423, 031	28.8%	638, 000
ス		①国庫支出金	円						
î,	財	②県支出金	円						
橲	源	③地方債	円						
報	内	④その他(使用料、雑入等)	円						
TIX	訳	⑤一般財源	円	588, 000	328, 430	676, 000	423, 031	28.8%	638, 000
		収入合計	円	588, 000	328, 430	676, 000	423, 031	28.8%	638, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	件	②年間所要時間	時間	400	400	400	400	0.0%	400
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	0.0%	1, 680, 000
	総	費 用 (A+B)	円	2, 268, 000	2, 008, 430	2, 356, 000	2, 103, 031	4. 7%	2, 318, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

取 〇平成25年6月4日に社会教育委員会議を開催し、平成25年度の重点事業について事務局より説明の後、委員から事業への意見や提 組 言を受けた。

			-								
	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容		
				自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であっ	る 🗆	2 検討の余均	也あり	□ 3	妥当でない
	妥 当 性		Α	目的の妥当性	1	妥当であっ		2 検討の余均		□ 3	妥当でない
				対象の妥当性	7	妥当であっ	る	2 検討の余均		□ 3	妥当でない
				目標達成度	1	高い		2 目標どおり		√ 3	低い・未実施
	有 効 性		В	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余均	也あり	□ 3	あり
				上位施策への貢献度	1 □	高い	>			□ 3	低い
6				コスト効率	√ 1	高い		2 普通		□ 3	低い
評	効 率 性		Α	実施主体の適正化	√ 1	適正であん	る 🗆	2 改善の余均	也あり	□ 3	適正でない
価				負担割合の適正化	√ 1	適正であん	る 🗆	2 改善の余均	也あり	□ 3	適正でない
	1 次評価		Λ	計画どおり事業を男	€施する	ことが適	2 次評化	不要			
	(課長総括)		Α	当			乙伙計	川			
	後○証			_			評				
				から幅広い助言や意			価				
	// T7 /. 1. /V L	快していくこ	とは重要であ	り、市民ニーズにも	あった社:	会教育事	1IIII				
	カス 結 大 サバス	の推進を図っ				結					
	針び果		0			果					

	事務事業名	生涯学習教室等事業	担火	課 名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	生涯学習教室等事業	当部	係 名	生涯学習係
1	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
基本	事業期間	開始年度 昭和50年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平項	総 目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
目	合 政 策 名	10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
	計 施 策 名	31 生涯学習の推進	皿	I	社会教育総務費
	画 基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり	市	民協働の状況	協働している

2	事業概要	学び続けるきっかけづくりとして、初心者を対象とした生涯学習教室を開催する。また、成果を発表する生涯学習 フェスティバルを開催する。 市民の教養を高めることを目的に、市民教養講座ハートフルセミナーを開催する。
学	対 象	市民
柳要	手 段 (活動指標)	習い事などの生涯学習活動を始めたい人のニーズに沿った講座を設ける。
	意 図 (成果指標)	講座受講をきっかけに、生涯学習に取り組む人が増える。

	指 標 名	単位	24年	F. 度		25年度		26年度
		中亚	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
Ť	① 開催教室数	教室	10	18	14	18	128.6%	12
3	② ハートフルセミナー	□	3	3	2	2	100.0%	2
指 [③ 生涯学習フェスティバル		1	1	1	1	100.0%	1
保	① 受講者数	人	210	196	220	157	71. 4%	200
		人	90	66	30	19	63.3%	50
札								

	E /\	光件	24年	三度		25年度		26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	185, 000	147, 887	157, 000	143, 752	-2.8%	187, 000
支	②委託料	円						
H 出		円						
内	④負担金補助及び交付金	円						
4 部		円	845, 000	394, 595	790, 000	498, 165	26. 2%	750, 000
\exists	支出合計 (A)	円	1, 030, 000	542, 482	947, 000	641, 917	18.3%	937, 000
スニ	①国庫支出金	円						
人	②県支出金	円						
唐 沥	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
部	· ⑤一般財源	円	1, 030, 000	542, 482	947, 000	641, 917	18. 3%	937, 000
	収入合計	円	1, 030, 000	542, 482	947, 000	641, 917	18.3%	937, 000
人	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
件	0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	時間	400	400	400	400	0.0%	400
費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	0.0%	1, 680, 000
総	· 費 用 (A+B)	円	2, 710, 000	2, 222, 482	2, 627, 000	2, 321, 917	4. 5%	2, 617, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5 ○初心者を対象とした生涯学習教室を18教室開催し、167名が受講した。 取 ○生涯学習教室や地区公民館で開催する講座受講生の成果を発表する場として生涯学習フェスティバルを開催した。【開催日】平成 26年3月2日【場所】新川学びの森天神山交流館 内 ○郷土料理の伝承を目的に市民教養講座のハートフルセミナーを2回開催した。 ・郷土のお正月料理【開催日】12月25日【場所】学びの森交流館【参加者数】11名 ・冬の郷土料理【開催日】1月25日【場所】学びの森交流館【参加者数】8名

	評価の	の被	息点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容		
						自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗌	2 検討の余均	也あり	□ 3	妥当でない
	妥	当	性		Α	目的の妥当性	√ 1	妥当であ		2 検討の余均		□ 3	妥当でない
						対象の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗌	2 検討の余均		□ 3	妥当でない
						目標達成度	<u> </u>	高い		2 目標どおり		√ 3	低い・未実施
	有す	効	性		В	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余均	也あり	□ 3	あり
						上位施策への貢献度	<u> </u>	高い	✓	2 普通		□ 3	低い
6						コスト効率	<u> </u>	高い		2 普通		□ 3	低い
評価	効 🗵	率	性		В	実施主体の適正化	✓ 1	適正であ		2 改善の余均		□ 3	適正でない
価						負担割合の適正化	√ 1	適正であ	る 🗆	2 改善の余均	也あり	□ 3	適正でない
	1 次				В	事業の進め方・内容	字につい.	て改善の	2 次評値	· 不要			
	(課長	総技	舌)		Ь	余地あり			2 0(1)	174			
	後二言	評				_			評				
	の顕有	価	l _æ ,	が主催する生	涯学習教室に	は、生涯学習のきった	いけづく	りである	価				
	方及名	結	127	シエほう るエ とから さら	.佐一百教主16 に 新钼妥請	k、工程子目のとうだ 集生が入りやすい環境	・ハ う ヽ 音	進める	結				
	後の方針)	里	Ι-,		一、加州人		ᇨᅹᄤᇉ	~~ ~ ~ ~ ·	果				
	- 今	//\							<i>></i> /<				

Ь					
	事務事業名	視聴覚ライブラリー事業	担火	課 名	生涯学習・スポーツ課
_	予算事業名	視聴覚ライブラリー事業	当部	係 名	生涯学習係
1基本項目	事業区分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
基本	事業期間	開始年度 昭和43年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
本項	総 目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
自	合 政 策 名	10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
	計 施 策 名	31 生涯学習の推進	目	目	社会教育総務費
	画 基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり	市月	民協働の状況	協働になじまない

事業概要 学校教育、社会教育における視聴覚教材の活用を促すとともに視聴覚教材の研究を行う 対 象 小学校、中学校、幼稚園、保育所、社会教育団体(公民館など) 段 より効果的な学習活動のために、保有する視聴覚教材を貸し出す。また、要望の多い作品を購入する。 (活動指標) 視聴覚教材や機材を活用して学習効果を高める学校や園などが増える (成果指標)

	指標名		単位	24年				26年度	
		<u> </u>	毕业	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 教材・機材ののべ貸出し数	数	100	83	100	44	44.0%	100
3	野 指	2							
指揮		3							
倧	成田)	校・園	25	14	25	11	44.0%	25
	果指	2							
	標	3							

		区 分	単位	24年	F度		25年度		26年度
			中江	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円						
		②委託料	円						
	出	③工事請負費	巴						
	内	④負担金補助及び交付金	巴						
4	訳	⑤その他	巴	230, 000	205, 128	200, 000	192, 906	-6.0%	200, 000
=		支出合計 (A)	巴	230, 000	205, 128	200, 000	192, 906	-6.0%	200, 000
ス		①国庫支出金	円						
,		②県支出金	円						
椿		③地方債	円						
報		④その他(使用料、雑入等)	円						
TIA		⑤一般財源	円	230, 000	205, 128	200, 000	192, 906	-6.0%	200, 000
		収入合計	円	230, 000	205, 128	200, 000	192, 906	-6.0%	200, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
		②年間所要時間	時間	100	100	100	100	0.0%	100
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	420, 000	420, 000	420, 000	420, 000	0.0%	420, 000
	総	費 用 (A+B)	円	650, 000	625, 128	620, 000	612, 906	-2.0%	620, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

取 〇視聴覚資材・機材の貸し出しを行った。 組 〇視聴覚教材選対委員会を開催し、新たに購入する3作品を選定した。(平成25年12月3日) 内 〇魚津市視聴覚ライブラリー運営委員会を開催し、25年度の事業成果と今後の課題また26年度事業計画案について協議した。(平成 容 26年2月25日)

	評価の	視点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容			
					自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗌 2	! 検討の余地	しあり	□ 3	妥当でなり	<u>ر ۲</u>
	妥 当	性		Α	目的の妥当性	√ 1	妥当であ				□ 3	妥当でなり	
					対象の妥当性	1	妥当であ	る 🗌 2			□ 3	妥当でなり	
					目標達成度	<u> </u>	高い	□ 2			√ 3	低い・未	実施
	有 効	1 性		В	類似事業の有無	√ 1	なし	□ 2		りあり	□ 3	あり	
					上位施策への貢献度	1	高い	√ 2			□ 3	低い	
6					コスト効率	1	高い	√ 2			□ 3	低い	
評	効 率	性		В	実施主体の適正化	✓ 1	適正であ				□ 3	適正でなり	
価					負担割合の適正化	1 ✓	適正であ	る 🗆 2	:改善の余地	しあり	□ 3	適正でなり	い
	1 次計	平価		В	事業の進め方・内容	子につい	て改善の	2次評価	不要				
	(課長約	総括)		Ь	余地あり			乙扒計圖	小女				
	後二証	Ž.	•		=			評					
	後課価	扫	時党数 材の奏	宝に奴めると	ともに、幅広い市民	こかた知	田される	価					
	// T /L		。 ラPRする必	天に労めると	. こりに、幅広い川に	といっつすり	出るれる	結					
	針び門	٦	ノアスタる必	女がめる。				和田田					
	針び今	=						果					

	事務事業名	放課後子ども教室推進事業	担	課名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	放課後子ども教室推進事業	当部	係 名	生涯学習係
1基本項目	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
本	事業期間	開始年度 平成13年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
1 項	総目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
自	合 政 策 名	10 明日を担う人づくり	科		社会教育費
•	計 施 策 名	31 生涯学習の推進	目	目	社会教育総務費
	画 基本事業名	31-2 地域の教育力の向上	市	民協働の状況	協働している
		-			

放課後における子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域住民の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動等地域に根ざした多様な体験活動の機会を提供し、地域全体で子供たちを育む。主として小学校児童を対象に全校下の地区公民館と2つの小学校の待機スペースでいろいろな遊び、料理、伝統芸能、サークル活動等を行う。 事業概要 2事業概 対 象 市内の小学生 段 平日放課後並びに土日・祝日に公民館等でサークル活動・体験活動を実施する。 (活動指標) 放課後において子どもたちの安全な居場所が確保される。 (成果指標)

		指標名	単位	24年			25年度		26年度
		14 保 名	中世	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 実施教室数	箇所	15	15	15	15	100.0%	15
3	期 指	② 教室開催数(総数)	□	670	647	670	639	95. 4%	670
指	標	3							
倧	成品	① 参加者数(延べ)	人	15, 000	14, 847	15, 000	13, 201	88. 0%	13, 000
	果指	② 参加児童の満足度(アンケート)	%	100	100	100	100	100.0%	100
		3							

	E /\	光什	24年	三度		25年度		26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	30, 000	2, 956	30, 000	38, 545	1204.0%	30, 000
3	②委託料	円	4, 865, 000	4, 386, 000	4, 061, 000	4, 061, 000	-7.4%	3, 656, 000
F	③工事請負費	円						
P	④負担金補助及び交付金	円	21, 000	17, 010	18, 000	17, 010	0.0%	18, 000
4	引 ⑤その他	円	1, 345, 000	1, 263, 840	1, 276, 000	1, 266, 720	0. 2%	1, 276, 000
=	支出合計(A)	円	6, 261, 000	5, 669, 806	5, 385, 000	5, 383, 275	-5. 1%	4, 980, 000
ス	①国庫支出金	円						
	2県支出金	円	3, 504, 000	2, 924, 000	2, 924, 000	2, 924, 000	0.0%	2, 654, 000
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	7, 000	6, 300	7, 000	6, 300	0.0%	7, 000
TX I	③一般財源	円	2, 750, 000	2, 739, 506	2, 454, 000	2, 452, 975	-10.5%	2, 319, 000
	収入合計	円	6, 261, 000	5, 669, 806	5, 385, 000	5, 383, 275	-5.1%	4, 980, 000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
化	0 1 1 1 1 1 1 1 1	時間	400	400	400	400	0.0%	400
了	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	0.0%	1, 680, 000
糸	費 用 (A+B)	円	7, 941, 000	7, 349, 806	7, 065, 000	7, 063, 275	-3.9%	6, 660, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5

組 市内15教室でスポーツ・文化活動、各種体験活動を実施した。 内 また、年度末には放課後対策事業運営委員会を開催して、今年 容 また、年度末には放課後対策事業運営委員会を開催して、今年度の活動状況を確認した。

	評価の	の視	点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容			
						自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であり	る 🗌	2 検討0)余地あり	J 🔲 3	妥当でない	
	妥当	当	性		Α	目的の妥当性	√ 1	妥当であっ)余地あり			
						対象の妥当性	√ 1	妥当であっ	る 🗌	2 検討の	分余地あり	J 🔲 3	妥当でない	
						目標達成度	1	高い	✓	2 目標と		□ 3	低い・未実施	
	有多	効	性		В	類似事業の有無	1	なし)余地あり	J 🔽 3	あり	
						上位施策への貢献度	1	高い	~	2 普通		□ 3	低い	
6						コスト効率	√ 1	高い		2 普通		□ 3	1=-	
評価	効 🗵	率	性		Α	実施主体の適正化	√ 1	適正であん)余地あり		適正でない	
価						負担割合の適正化	√ 1	適正であん	る 🗌	2 改善0	分余地あり	J 🗆 3	適正でない	
	1 次	:評(画		Λ	計画どおり事業を実	€施する	ことが適	2次評価	⊞ 不明	5			
	(課長	総指	舌)		Α	当			乙伙計制	ш 113	Σ			
	後二章	垭							評					
	後の方針)	価	公	民館活動のこ	ども教室とし	、て、事業名は変わっ	ってきて	いるが、	価					
	方型1	一	少	子化対策とし	ての行われて	こいる事業であり、タ	主実して	いかなけ						
	針びれ	行		ばならない。					結					
	()	果	' ' '	0. 0. 5 0. 6					果					
	7													

施設管理

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

<u> </u>	施設官埋			平风	25年度美額	- 関りる事務	分争 耒 部	f1四衣				
	事務事業	差名 公民館	官一般管理費				担	課	名	生涯学	智・スポ	ーツ課
_	予算事業		官一般管理費				当部	尔		生涯学		
1	事 業 区	分 自治事	事務				署		話番号	0765-	23-1045	
基本	事 業 期		年度 昭和27	年度	終了年度	当面継続	子	. 会		一般会		
項	総目標	名 基本目			育むまち		算			教育費		
1基本項目	合 政 策		月日を担う人 つ				科			社会教		
	計施策		E涯学習の推進	<u>É</u>			目			公民飢		
	画 基本事業	業名 31-2	地域の教育	力の向	上		Ī	5民協賃	かが状況	協働に	なじまな	い
2 事	事業概要対		よび公民館職 公民館職員	員の賃	金・維持・管理	等にかかる事業						
2事業概要	手 (活動指標)	公民館職			間に関すること て行う など	、光熱水費等維	持管理に	かかる	支払、公民	民館設	備の修繕・	備品の購入、
安	意 図 (成果指標)	小尺般 和			きるように環境	を整える。						
	(//42/14/14/04/				9.45	F IFF			%仕世			96年 度
		指標名		単位	計画	F <u>度</u> 実績	計	卣	25年度 実績	į	達成率	26年度 計画
	活 ① 公民館職	員数(館長、主事	、指導員、書記)	人	52	52		52		52	100.0%	52
3	活 ① 公民館職 ② 指 ②											
3 指標	標 ③											
保		延べ利用者	数	人	141, 000	135, 480	14	1, 000	131	, 208	93. 1%	140, 000
	果 2											
	標 3											
		区 分		単位	24年		/2/-		25年度	_		26年度
	小房田書				予算現額	決算額	予算:		決算物		決算増減率	当初予算額
	①需用費 ②委託料			円円	14, 483, 000 8, 304, 000	15, 104, 122 8, 303, 859		8, 000 1, 000	7, 911 5, 212		-47. 6% -37. 2%	8, 978, 000 5, 294, 000
	出③工事請任	自 費		円	0, 304, 000	0, 303, 639	J, ZZ	1,000	J, Z1Z	, 209	37.2/0	3, 234, 000
	内④負担金袖		 	円	2, 850, 000	2, 493, 392	4, 12	2, 000	3, 625	, 517	45. 4%	2, 790, 000
4	訳 ⑤その他			円	35, 343, 000	33, 866, 997		3, 000	33, 317		-1.6%	12, 097, 000
コ	支出合計			円	60, 980, 000	59, 768, 370	51, 85	4, 000	50, 067	, 049	-16. 2%	29, 159, 000
ス	①国庫支出 ②県支出			円田田								
上	源。③地方債	拉		円円								
情報	内④その他	(使用料、雑	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	円	197, 000	189. 769	18	1.000	176	. 934	-6.8%	72. 000
報	訳 ⑤一般財活			円	60, 783, 000	59, 578, 601		3, 000	49, 890	, 115	-16.3%	29, 087, 000
	収入合計			円	60, 980, 000	59, 768, 370	51, 85		50, 067		-16. 2%	29, 159, 000
	/ •	業に携わる正	E規職員数	人	2	2		2		2	0.0%	2
	件 ②年間所要			時間	1, 200	1, 200		1, 200		, 200	0.0%	1, 200
	費③人件費		200 円) (B)	円	5, 040, 000	5, 040, 000		0, 000	5, 040		0.0%	5, 040, 000
	総費用	(A+B)		円	66, 020, 000	64, 808, 370	56, 89	4, 000	55, 107	, 049	-15.0%	34, 199, 000
	平成25年度	こに取り組ん	だ事務事業の	内容及	び改善内容							
5 取組内容			民館職員の賃						1 , 1			
	評価の視点	H24評価	H25評価		平価項目 関与の妥当性	☑ 1 妥当であ	Z 🗆		ター 容の余地あり	LI	□ 3 妥	当でない
	妥 当 性		Α) 妥当性	☑ 1 妥当である☑ 1 妥当である	<u>~ ロ</u> る ロ		の余地あ			ョでない 当でない
	, – I			対象の)妥当性	☑ 1 妥当であ	る 🗌	2 検討	の余地あ		3 妥	当でない
				目標這		□ 1 高い			どおり			ハ・未実施
	有 効 性		Α		事業の有無	☑ 1 なし □ 1 京い		2 検討	の余地あ	り	□ 3 あ	
6				上仏施コスト	策への貢献度	☑ 1 高い □ 1 高い		2 普通 2 普通			□ 3 低	
6評価	効 率 性		В		三体の適正化	<u>□ 1 適</u> 正であ			の余地あ	IJ		<u>, .</u> 正でない
価	, ,			負担害	引合の適正化	☑ 1 適正であ	<u>る</u> 🗀		の余地あ			Eでない
	1 次評価 (課長総括)		Α	現行と 当	だおり管理運営を		2 次評価	五	要			
				<u> </u>								
			ュニティ機能 の準備を進め		とに向けて、市長 そがある。	部局で公民館	評価結果					

	/\-	ード事	業]		平成	25年度実績	責に	関する事務	事業	評化	曲表				
	事	223 3			官大規模修繕事						担当	課			学習・スポ	パーツ課
1	予				官大規模修繕事	業					部	係		名 生涯的		
1基本項目	事			分 自治事			14 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	- I.I.	- Anti-Art		署			号 0765-		
本	事				年度 平成13		終了年月	世 当	血継続		予	会		十 一般名		
項	総			基本目			育むまち				算		款	教育費		
目	合計				日を担う人で						科目		項	社会教		
	画		策る		三涯学習の推進		1 L					日山馬	目 の III II II II II II II II II	公民館		×1 ×
		基本	事 来 4	图 31-2	地域の教育	ハいに	上				Ш1	民協働	少扒初	1.	こなじまな	
2 車		事業 概		をすると る施設に	ともに、経年 する。	い、学 劣化等	≐ぶ場である地 ≩により大規模	区公 修繕	民館で安心し が必要な施設!	て事業におい	が行いては	fえるよ は大規模	こう、i 関改修	耐震性の を行い、	無い公民的快適で安々	館には耐震補強 心して利用でき
業	対		象	地区公民	館											
事業概要	意	活動指	図				必要とする公民 ・ 必要な施設には			が安心	いして	利用で	ごきる:	施設を増	やす。	
Ξ			116			W. II.	2	4年月	Ŧ				25年月	Ħ.		26年度
				標 名		単位	計画	17/2	実績		計画			 長績	達成率	計画
	活動	0	模修繕	・耐震化工事	が必要な公民館	館	1		1			0		0		1
3 指標	活動指標	2														
担煙	標	3	54471	+ 4- 1	八口約			\perp							100.00	
125				を行ったな		館		2	2			2		2	100.0%	2
	果指	② 耐震 ③	きけん	不要の公	天郎	館	(6	6			6		8	133. 3%	8
	標	3														
			[区 分		単位		4年月		→.	左 左 〒日	北 広	25年月		VL 880 124 VA	26年度
		①需用	弗			円	予算現額		決算額	才,	算現	頟	沃	算額	決算増減率	当初予算額
	支	②委託	<u>貝</u> 料			<u> </u>										
	出	③工事	 請負犯	 費		円	15, 000, 000		12, 075, 000						-100.0%	
	内	④負担	金補具	助及び交付	 	円										
4		⑤その		. \		円	45 000 000		10 075 000						100.00	
コ		支出合				円円	15, 000, 000)	12, 075, 000			0		0	-100.0%	0
ス		②県支		IZ.		<u> </u>	15, 000, 000)	12, 075, 000						-100.0%	
卜情	源	③地方	債			円	10,000,000		, ., .,						10010,0	
報				吏用料、雑	住入等)	円										
114	訳	⑤一般	<u>財源</u>			円田	15 000 000		10 075 000			0		0	100 00/	0
	_	収入合		ァ推わるエ	E規職員数	円人	15, 000, 000		12, 075, 000			0		0	-100.0% -100.0%	0
		②年間			- 况	時間	200		200						-100.0%	
					200 円) (B)		840.000		840. 000			0		0	-100.0%	
	総			(+B)	200 F) (B)	円円	15, 840, 000		12, 915, 000			0		0	-100.0%	
									12, 913, 000			U		U	100.0/0	U
5 取組内容		平成18年 1月31日 昭和52年	F度に 日に業 F11月	J A 部分: 務完了報: に竣工し	告がなされ、 、築36年経過	れ、内両施設してい	1装改修を行い とも耐震性有 いる片貝公民館	との の大	結果であった。 規模修繕工事I	。 こつい	て検	討				大規模改修の
	評值	価の視り	点 I	H24評価	H25評価		評価項目					内				alt = b i
	妥	当 忄	生		Α		関与の妥当性 日子 日子 日子 日子 日子 日子 日子 日	<u></u>			□ 2 □ 2					<u>当でない</u> 当でない
	女	∃ 1	土		A		の妥当性	✓ ✓			2					<u>ョでない</u> 当でない
						目標這			1 高い		2		どおり	, ,		<u></u>
	有	効 作	生		В	類似事	事業の有無	√			_ 2	検討(あり	<u>=</u> 3 あ	
۵							策への貢献度	√			2				□ 3 低	
6 逐	効	率(生		Α		ト効率 E体の適正化	✓ ✓		5 1	<u> </u>		の余地	あい	□ 3 低□ 3 滴	<u>い</u> 正でない
評価	7/1	+ 1			^		目合の適正化	<u> </u>			2					正でない
	1	次評価			Α	計画と	ごおり事業を実			2 次計		不				
		果長総括))			当					. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		^			
	後の方針)	(課題及び今	公共が る。	拖設の再編	方針にしたが	い、言	十画的な整備を	進め	る必要があ	評価結果						

事 務	事業	公民館活動振興事業	担业	課名	生涯学習・スポーツ課
予 算	事業	公民館活動振興事業		係 名	生涯学習係
事 業	美区:	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
事業	其 期	別 開始年度 昭和27年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
総目	標々	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
合政	策	10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
計施	策名	31 生涯学習の推進	目	目	公民館費
連 基	本事業名	31-2 地域の教育力の向上	市	民協働の状況	協働になじまない
	予事事 総合計	予算 事 業 名 事 業 居 票 器 問 標 名 合 政 策 名 計 施 策 名	予算事業名 公民館活動振興事業 事業区分自治事務 部 事業期間開始年度 昭和27年度 終了年度当面継続 総目標名基本目標4人と文化を育むまち合政策名10明日を担う人づくり計施策名31生涯学習の推進	予算事業名 公民館活動振興事業 事業区分自治事務 書 事業期間開始年度 昭和27年度 終了年度当面継続 ※ 総目標名基本目標4人と文化を育むまち合政策名10明日を担う人づくり計施策名31生涯学習の推進 科目	予算事業名 公民館活動振興事業 当部 係名 事業 区分 自治事務 署 電話番号 事業 期間 開始年度 昭和27年度 終了年度 当面継続 予会計算 総 目標名 基本目標4 人と文化を育むまち合政策名 10 明日を担う人づくり計 施策名 31 生涯学習の推進 科項目

各地区社会教育振興会(地区公民館)に委託して、生涯学習推進のための各種教室・講座などを開催している。また、地区との共催事業で運動会・敬老会・文化祭を開催している。 事業概要 2事業概 対 象 市民 段 各地区公民館が主体となって各種教室や講座等を開催する (活動指標) 公民館教室等に参加する住民が増え、住民の教養が高まるとともに地域が活性化する (成果指標)

	指標名		24年				26年度	
	111 - 11	単位	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活 ① 生涯学習教室開催数	口	450	453	470	488	103.8%	490
3	_指 ② 共催事業等開催数	口	67	67	67	67	100.0%	67
指	標 ③							
倧	^^ () 工准于自叙主守多加名数	人	19, 500	19, 825	19, 700	19, 737	100. 2%	19, 900
	果 ② 共催事業等参加者数	人	19, 000	18, 845	19, 000	19, 305	101.6%	19, 000
	標 ③							

	区 分	単位	24年	F度		25年度		26年度	
			平位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円	130, 000	113, 568	130, 000	116, 748	2. 8%	137, 000
	支	②委託料	円	10, 304, 000	10, 304, 000	8, 101, 000	8, 101, 000	-21.4%	5, 835, 000
	出	③工事請負費	円						
	内	④負担金補助及び交付金	円	187, 000	187, 000	181, 000	178, 000	-4.8%	183, 000
4	訳	⑤その他	円	3, 640, 000	3, 507, 720	3, 646, 000	3, 527, 500	0.6%	3, 618, 000
=		支出合計 (A)	円	14, 261, 000	14, 112, 288	12, 058, 000	11, 923, 248	-15.5%	9, 773, 000
7		①国庫支出金	円						
ī,		②県支出金	円						
棲	源	③地方債	円						
報		④その他(使用料、雑入等)	円						
TIX	訳	⑤一般財源	円	14, 266, 000	14, 112, 288	12, 058, 000	11, 923, 248	-15.5%	9, 773, 000
		収入合計	円	14, 266, 000	14, 112, 288	12, 058, 000	11, 923, 248	-15.5%	9, 773, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	件	②年間所要時間	時間	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000	0.0%	1, 000
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	4, 200, 000	4, 200, 000	4, 200, 000	4, 200, 000	0.0%	4, 200, 000
	総	費 用 (A+B)	円	18, 461, 000	18, 312, 288	16, 258, 000	16, 123, 248	-12.0%	13, 973, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5

私組内容

○各地区社会教育振興会(地区公民館)へ委託し、高齢者学級や異世代交流などの各種公民館教室を開催した。 ○13地区中3地区(大町、本江、加積)では、この事業と地域振興事業との関連性を重視し、予算の一部を地域協働課に所管替えした。

	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目					内 3	~			
	計画でクラルカ	式 112年計画	1125計画	自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であっ	z 🗆	2 #	食討の余地		□ 3	妥当でない	
	妥 当 也	#	Α	目的の妥当性	<u> </u>	妥当である			食討の余地		3	妥当でない	
	Д J 1.	1-		対象の妥当性	<u>7</u> 1	妥当である			食討の余地		<u> </u>	妥当でない	
				目標達成度	<u>√</u> 1	高い			目標どおり		<u> </u>	低い・未実施	
	有効性	Ė	В	類似事業の有無	<u> </u>	なし	✓	2 核	倹討の余地	あり	<u> </u>	あり	
				上位施策への貢献度	√ 1	高い					□ 3	低い	
6				コスト効率	✓ 1	高い					□ 3	低い	
評	効 率 性	±	Α	実施主体の適正化	√ 1	適正であん			枚善の余地		□ 3	適正でない	
価				負担割合の適正化	✓ 1	適正であん	る 🗆	2 7	枚善の余地	あり	□ 3	適正でない	
	1 次評価		Α	計画どおり事業を実	€施する	ことが適	2 次評化	(iiii	不要				
	(課長総括)			当			2 ()(111	ІЩ	11.54				
	後課評			_			評						
	の題価	◇ 民館でのコミ	ュニティ機能	€を併設に向けて、↑	1長部局	で公民館	価						
	方及結			る必要がある。	1. TO 11.1-1	(1 1 1 1 1	結						
	万及結り今果		ma C XE 0				果						
	今八						710						

補助金

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

_					
	事務事業名	女性教育事業	担火	課 名	生涯学習・スポーツ課
ے	予算事業名	女性教育事業	当部	係 名	生涯学習係
1基本項目	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
基本	事業期間	開始年度 昭和27年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
項	総 目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
自	合 政 策 名	10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
	計 施 策 名	31 生涯学習の推進	目	目	社会教育総務費
	画 基本事業名	31-2 地域の教育力の向上	市目	民協働の状況	協働している

事業概要 各地区婦人会からなる市連合婦人会の活動を通じて女性の社会参加を促す。 対 象 魚津市連合婦人会の会員 段 連合婦人会として社会活動に参加する。 (活動指標) 活動への参加を通じて女性が能力を発揮することができる (成果指標)

	指標名		単位	24年				26年度	
	1日	1 保 石	中亚	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活 ① 魚津市連	合婦人会活動数		17	17	17	16	94. 1%	17
3	り 会員数		人	750	570	365	332	91.0%	280
指	標 ③								
倧	成 ① 婦人会事	業参加者数(延べ)	人	1, 900	1, 070	1, 000	728	72. 8%	800
	鬼 ② 国内研修	参加者数	人	20	39	20	27	135.0%	20
	標 ③								

	区分	単位	24年	F度		25年度		26年度
	' '	中1世	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円						
3	②委託料	円						
E		円						
P	④負担金補助及び交付金	円	500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	0.0%	450, 000
4		円						
<u> </u>	支出合計(A)	円	500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	0.0%	450, 000
ス	①国庫支出金	円						
下	2県支出金	円						
	③地方債	円						
	到 ④その他(使用料、雑入等)	円						
T/	⑤一般財源	円	500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	0.0%	450, 000
	収入合計	円	500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	0.0%	450, 000
	(①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
4	②年間所要時間	時間	100	100	100	100	0.0%	100
3	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	420, 000	420, 000	420, 000	420, 000	0.0%	420, 000
糸	費 用 (A+B)	円	920, 000	920, 000	920, 000	920, 000	0.0%	870, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5

取 組 〇魚津市連合婦人会へ補助金を交付した。 内 〇婦人会では、婦人会だよりの発行(年 1 回)、国内研修の実施、環境フェスティバルをはじめ各種行事への参加等の活動をした。 容

	評価の)視点	E H24評	価 E	H25評価	評価項目					内	容				
						自治体関与の妥当性	1	妥当である	გ ∑	2 検	対の余地	はあり	□ 3	妥	当でなし	١,
	妥 当	i 性	Ė		С	目的の妥当性	√ 1	妥当である	る 🗆	2 検	対の余地	はあり	□ 3		当でなし	
						対象の妥当性	1	妥当である	ნ ☑	2 検	対の余地	りあり	□ 3	妥	当でなし	١,
						目標達成度	<u> </u>	高い	✓		漂どおり		□ 3	低	い・未足	単施
	有 效	5 性	E		В	類似事業の有無	√ 1	なし			対の余地	りあり	□ 3	あ	IJ	
						上位施策への貢献度	1	高い	✓	2 普遍			□ 3	低	い	
6						コスト効率	√ 1	高い		2 普遍			□ 3			
評価	効 率	5 性	E			実施主体の適正化	√ 1	適正である			善の余地		□ 3		正でなし	
価						負担割合の適正化	1	適正である	გ <u>⊽</u>	2 改	善の余地	りあり	□ 3	適	正でなし	١,
	1 次言	評価			В	補助率及び上限額に	こついて、	見直す余	2 次評化		不要					
	(課長約	総括)			D	地あり			乙伙計	Щ	个女					
	後○封	E.							評							
	後の方針)(課題及び今	, 				求められる役割はま			価							
	方型 川	빌	きており、	会員や約	組織の減少	に歯止めがかからな	い中で	の活動の								
	針び紅	1 4	Eり方につ						結							
	し 全界	1	_ , , , , , ,	1/4					果							
	7															

	7 7 1 T-XK	1% 20 千及人順に因うの手切手	~=11	ш 12	
	事務事業名	友好親善都市児童交流事業	担	課名	生涯学習・スポーツ課
_	予算事業名	友好親善都市児童交流事業	当部	係 名	生涯学習係
1基本項目	事業区分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
基本	事業期間	開始年度 昭和58年度 終了年度 当面継続	予	会計	一般会計
1 項	総目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
Í	合 政 策 名	10 明日を担う人づくり	科		社会教育費
	計 施 策 名	31 生涯学習の推進	目	Ш	社会教育総務費
	画 基本事業名	31-2 地域の教育力の向上	市	民協働の状況	協働している
	事業概要 5	・好親義教市の岡山県共原市の旧竜と角津市の旧竜が、隔年で雨	おた計	問しな法する	

友好親善都市の岡山県井原市の児童と魚津市の児童が、隔年で両市を訪問し交流する。 対 象 井原市、魚津市の児童(小学5.6年生) 段 平成25年度は、魚津市の児童(小学5.6年生)20名が井原市を訪問し、交流を図る。 (活動指標) お互いの市について知り、子どもたちが交流し、友情を育む。 (成果指標)

	指標名	単位	24年	F度		25年度		26年度
		中世	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	① 交流事業数	口	1	1	1	1	100.0%	1
3	動 2							
指揮	標 ③							
憬	団 井原市・魚津市の参加児童数	人	40	40	40	40	100.0%	40
	果 指							
	標 ③							

		区 分	単位	24年	F度		25年度		26年度
			中亚	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円	167, 000	135, 811	232, 000	201, 683	48.5%	174, 000
	支	②委託料	巴	650, 000	614, 590	750, 000	741, 290	20.6%	680, 000
	出	③工事請負費	巴						
	内	④負担金補助及び交付金	円						
4	訳	⑤その他	巴	103, 000	105, 342	37, 000	21, 190	-79.9%	88, 000
=		支出合計(A)	巴	920, 000	855, 743	1, 019, 000	964, 163	12. 7%	942, 000
ス		①国庫支出金	円						
F	財	②県支出金	円						
僖	源	③地方債	円						
報	内	④その他 (使用料、雑入等)	円			100, 000	100, 000		
TIX	訳	⑤一般財源	円	920, 000	855, 743	919, 000	864, 163	1.0%	942, 000
		収入合計	円	920, 000	855, 743	1, 019, 000	964, 163	12. 7%	942, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	件	②年間所要時間	時間	600	600	600	600	0.0%	600
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	2, 520, 000	2, 520, 000	2, 520, 000	2, 520, 000	0.0%	2, 520, 000
	総	費 用 (A+B)	円	3, 440, 000	3, 375, 743	3, 539, 000	3, 484, 163	3. 2%	3, 462, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

取組内容

〇魚津市から児童20名が井原市を訪問し、井原市の児童20名と交流を深めた。 【期日】平成25年8月2日~5日【参加児童】11校20名【研修会】事前研修3回、事後研修1回 【主な内容】・平和学習として、広島平和記念公園などを見学し、平和への意識を高めた。 ・田中美術館の見学、井原夏祭りで踊りに参加、鷲羽山ハイランドの散策、弓道体験等を通じて井原市児童との交流を 深めた。

					_							
	評価の	見点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容		
	妥 当	共		Α	自治体関与の妥当性 目的の妥当性	1 ১	妥当である		2 検討の余b 2 検討の余b		☐ 3 ☐ 3	妥当でない 妥当でない
	[{	,		, ,	対象の妥当性	1	妥当であ		2 検討の余均	也あり	3	妥当でない
					目標達成度	<u> </u>	高い	~	2 目標どおり	J	□ 3	低い・未実施
	有 効	性		В	類似事業の有無	√	なし		2 検討の余り	也あり	<u> </u>	あり
					上位施策への貢献度	1	高い	>	2 普通		□ 3	低い
6					コスト効率	1	高い		2 普通		□ 3	低い
評	効 率	性		В	実施主体の適正化	√ 1	適正であ	る 🗆	2 改善の余均	也あり	□ 3	適正でない
価					負担割合の適正化	1	適正であ	る 🗌	2 改善の余5	也あり	□ 3	適正でない
	1 次評 (課長総			В	事業の進め方・内容 余地あり	子につい	て改善の	2次評価	不要			
	後の方針) (課題及び今	友排	好親善都市井 市を見直す良	原市を児童が い経験となる	- と考えられる。	‡原市を:	知り、魚	評価結果				

	事務事業名 成人式事業	担业	課名	生涯学習・スポーツ課
	予 算 事 業 名 成人式事業	当部	係 名	生涯学習係
1	事業区分 自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
1基本項目	事業期間開始年度昭和27年度終了年度当面継続	予	会 計	一般会計
平項	総 目 標 名 基本目標 4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
Ē	合 政 策 名 10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
•	計 施 策 名 31 生涯学習の推進	目	目	社会教育総務費
	画 基本事業名 31-2 地域の教育力の向上	市	民協働の状況	協働している

2 東	事業概要	20歳になった若者の門出を祝い、成人式を挙行する。							
学	対 象 本年度20歳になる人(市内現住者、または中学卒業時点まで市内に住んでいた人)								
概要	手 段 (活動指標)	成人式実行委員会を組織して企画・運営を行う。							
		成人者としての自覚と責任をもたせる。 ふるさと魚津への愛着を高める。							

	指 標 名	単位	24年	F. 度			26年度	
	11 保 名	平位	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	① 成人式対象者数	人	437	437	420	420	100.0%	420
3	別 ② 成人式実行委員会開催数	口	5	5	5	5	100.0%	5
頂	標 ③ 成人式実行委員数	人	15	17	15	18	120.0%	15
倧	① 成人式参加率	%	80. 0	79. 6	80.0	78. 3	97. 9%	80. 0
	果							
	標 ③							

	区 分		24年	F.度		25年度		26年度
	, , , , ,	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	559, 000	544, 000	625, 000	560, 653	3. 1%	615, 000
3	②委託料	円	100, 000	100, 000	100, 000	100, 000	0.0%	112, 000
Η		円						
P	④負担金補助及び交付金	円						
4 1	尺 ⑤その他	円	298, 000	251, 000	286, 000	236, 071	-5.9%	281, 000
<u> </u>	支出合計(A)	円	957, 000	895, 000	1, 011, 000	896, 724	0. 2%	1, 008, 000
ス	①国庫支出金	円						
ト月	2県支出金	円						
	□ ③地方債	円						
報	引 ④その他(使用料、雑入等)	円	40, 000	40, 000	40, 000	40, 000	0.0%	40, 000
司	₹⑤一般財源	円	917, 000	855, 000	971, 000	856, 724	0. 2%	968, 000
	収入合計	円	957, 000	895, 000	1, 011, 000	896, 724	0. 2%	1, 008, 000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
4		時間	400	400	400	400	0.0%	400
事	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	0.0%	1, 680, 000
糸	費用(A+B)	円	2, 637, 000	2, 575, 000	2, 691, 000	2, 576, 724	0.1%	2, 688, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

取 取 新成人を中心とした成人式実行委員会を組織して企画・運営を行った。 組 式当日は、市交通センターが中心となって新成人に「交通安全署名」をお願いし、交通安全意識の向上と交通ルール遵守を呼びかけ 内 た。 容 また。第二部のアトラクションの部にはミラたんやビーちゃん(BBTマスコットキャラクター)が登場し、会場を盛り上げた。

	T / - 1	1			==				. [
	評価の社	見点	H24評価	H25評価	評価項目					容			
					自治体関与の妥当性	√ 1	妥当である	ნ □	2 検討の余地	也あり	□ 3	妥当でな	い
	妥 当	性		Α	目的の妥当性	√ 1	妥当である		2 検討の余地		□ 3	妥当でな	
					対象の妥当性	1	妥当である	る 🗆	2 検討の余地		□ 3	妥当でな	
					目標達成度	<u> </u>	高い	✓	2 目標どおり		□ 3		実施
	有 効	性		В	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余地	也あり	□ 3	あり	
					上位施策への貢献度	1 □	高い	>	2 普通		□ 3	低い	
6				В	コスト効率	1	高い		2 普通		□ 3	低い	
評	効 率	性			実施主体の適正化	√ 1	適正である		2 改善の余均		□ 3	適正でな	
価					負担割合の適正化	1	適正である	る 🗆	2 改善の余均	也あり	□ 3	適正でな	い
	1 次評	価		В	事業の進め方・内容	引につい.	て改善の	2 次評価	不要				
	(課長総	括)		Ь	余地あり			乙伙計制	小女				
	後 一 証							評					
	後の方針) (課題及び今	成.	人式実行委員	会が学年を超	₫えた仲間づくりがで	できる場	としても						
	方題1四	書	重であること	からこのほ	動をきっかけとして	アその後	の青年活	価					
	針及 活	動	への広がりを	胡待できる	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			結					
	- 0 果	到	****************	क्याच ८८००				果					
	T												

事務事業名	青少年教育事業	担	課名	生涯学習・スポーツ課
予算事業名	青少年教育事業	当部	係 名	生涯学習係
事業区分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
事業期間	開始年度 昭和48年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
百総 目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
□ 合 政 策 名	10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
計 施 策 名	31 生涯学習の推進	目	目	社会教育総務費
画 基本事業名	31-2 地域の教育力の向上	市	民協働の状況	協働している

2 東	事業概要	魚津市の青少年の健全育成推進を図る。
事	対 象	魚津市内の青少年。市民。
概要	手 段 (活動指標)	市少年補導員による補導巡回活動、青少年関係の研修会を開催、啓発キャンペーンや機関誌発行による広報。
	意 図 (成果指標)	青少年の非行を防止する。市民の青少年健全育成に対する意識を向上させ、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。

	指標名	単位	24年			25年度		26年度
	1月 保 石	半世	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	1 1 青少年育成魚津市民会議事業数	口	9	9	9	10	111.1%	10
3	知 ② 魚津市少年補導センター街頭補導回数 お	口	100	62	90	70	77. 8%	90
指	標 ③ 魚津市青少年育成県民運動推進指導員活動回数	口	7	9	9	8	88. 9%	8
倧	成 ① 不良行為少年の補導総数	数	150	232	140	126	90.0%	130
	指②							
	標 ③							

	区 分		単位	24年	F度		25年度		26年度
			中亚	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円	28, 000	11, 000	28, 000	20, 266	84. 2%	27, 000
		②委託料	田	95, 000	95, 000	95, 000	95, 000	0.0%	95, 000
	出	③工事請負費	円						
	内	④負担金補助及び交付金	円	452, 000	452, 000	252, 000	252, 000	-44. 2%	252, 000
4	訳	⑤その他	円	545, 000	543, 000	545, 000	543, 430	0.1%	546, 000
=		支出合計 (A)	円	1, 120, 000	1, 101, 000	920, 000	910, 696	-17. 3%	920, 000
ス		①国庫支出金	円						
i,	財	②県支出金	円						
棲	源	③地方債	円						
報	内	④その他(使用料、雑入等)	円						
TIX	訳	⑤一般財源	円	1, 120, 000	1, 101, 000	920, 000	910, 696	-17. 3%	920, 000
		収入合計	円	1, 120, 000	1, 101, 000	920, 000	910, 696	-17. 3%	920, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	件	②年間所要時間	時間	400	400	400	400	0.0%	400
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	0.0%	1, 680, 000
	総	費 用 (A+B)	円	2, 800, 000	2, 781, 000	2, 600, 000	2, 590, 696	-6.8%	2, 600, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

- 5 取・夏の青少年の非行・被害防止に取り組む運動一斉啓発キャンペーン(7月) 取・魚津市少年補導委員会施設見学研修会(8月) ・家庭の日図画・ポスター作品展示会(11月) ・魚津市少年補導センター一斉街頭補導(11月) ・子ども・若者育成支援強調月間特別研修会(11月)

3 妥当でない
3 妥当でない
3 妥当でない
3 低い・未実施
3 あり
3 低い
3 低い
3 適正でない
3 適正でない

	事務事業名 子ども元気活動事業	担业	課名	生涯学習・スポーツ課
	予 算 事 業 名 子ども元気活動事業	当部	係 名	生涯学習係
$\frac{1}{+}$	事業区分 自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
基本	事業期間開始年度昭和27年度終了年度当面継続	予	会 計	一般会計
項	総 目 標 名 基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
	合 政 策 名 10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
Ī	計 施 策 名 31 生涯学習の推進	目	目	公民館費
	画 基本事業名 31-2 地域の教育力の向上	市民協働の状況		協働になじまない

・3歳親子ふれあい村:3歳児とその保護者に、自然体験を提供することにより、親子の共同・共感体験を通して、3歳児の豊かな感性を育てる。保護者向けに講演会を行い、子育てについて再考するきっかけづくりとする。 高校生・大学生ボランティアは親子と接することで幼児教育や将来の子育てについて考える機会を与える。 ・就学時子育て講演会:就学時健診に合わせて小学校で子育て講演を開催する。 事業概要 事 対 象 3歳児とその保護者、高校生・大学生。未就学児(6歳児)の保護者。 手 段 3歳親子ふれあい村(夏・冬)、就学時等子育て講演会、親学講演会の実施。 (活動指標) 3歳児は自然体験活動をとおして豊かな感性が育まれる。高校生・大学生ボランティアが参加親子とふれあうことで幼児教育や将来の子育て に関心をもつとができる。保護者は講演会に参加することで子育ての悩みを共有し、家庭教育を見直すきっかけになる。 (成果指標)

	指標名		単位	24年				26年度	
			中亚	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 3歳親子ふれあい村実施回数	口	2	2	2	2	100.0%	0
3	動指	② 就学時子育て講演会開催校数	校	9	9	9	9	100.0%	9
指	標	③ 親学び講演会開催数	口			2	2	100.0%	
倧	成	① 3歳親子ふれあい村参加者数	人	100	101	100	100	100.0%	0
	果指標	② 就学時子育て講演会参加者数	人	300	300	320	326	101.9%	
		③ 親学び講演会参加者数	人			160	166	103.8%	

	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				-			
	区 分	単位	24年			25年度		26年度
		半世	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	150, 000	101, 906	164, 000	102, 726	0.8%	30, 000
	支 ②委託料	円						
	出③工事請負費	円						
	内④負担金補助及び交付金	円						
4	訳 ⑤その他	円	585, 000	359, 768	579, 000	425, 504	18.3%	565, 000
=	支出合計(A)	円	735, 000	461, 674	743, 000	528, 230	14.4%	595, 000
ス	①国庫支出金	円						
ī	財②県支出金	円						
棲	源③地方債	円						
報	内 ④その他 (使用料、雑入等)	円	30, 000	30, 000	30, 000	31, 500	5.0%	
TIX	訳⑤一般財源	円	705, 000	431, 674	713, 000	496, 730	15. 1%	595, 000
	収入合計	円	735, 000	461, 674	743, 000	528, 230	14.4%	595, 000
	人①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	件 ②年間所要時間	時間	400	400	400	400	0.0%	400
	費 ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	0.0%	1, 680, 000
	総 費 用 (A+B)	円	2, 415, 000	2, 141, 674	2, 423, 000	2, 208, 230	3. 1%	2, 275, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

取

5

組 3歳親子ふれあい村(夏・冬)、就学時等子育て講演会、親学講演会を実施した。 内 3歳親子ふれあい村に関しては、対象の3歳児に対して年間30人程度と少ないた 容 3歳親子ふれあい村に関しては、対象の3歳児に対して年間30人程度と少ないため対象者数を増やすため平成26年度より見直し。

内 容
る ☑ 2 検討の余地あり □ 3 妥当でない
る ☑ 2 検討の余地あり □ 3 妥当でない
る ☑ 2 検討の余地あり □ 3 妥当でない
☑ 2 目標どおり □ 3 低い・未実施
☑ 2 検討の余地あり □ 3 あり
☑ 2 普通 □ 3 低い
☑ 2 普通 □ 3 低い
る ☑ 2 改善の余地あり □ 3 適正でない
る ☑ 2 改善の余地あり □ 3 適正でない
2 次評価 不要
△ 次評価
評
而
· 一
着
果
2020

	ソフト事業	平成 25年度美額I	- 関する事務	争兼評価	衣		
	事務事業名 洞杉指定文化財推進	事業		担制	果名	生涯学習・スポ	ーツ課
	予 算 事 業 名 4. 洞杉指定文化財推	進事業		当部		文化係	
1基本項目	事業区分 自治事務			署	電話番号	0765-23-1045	
基	事業期間開始年度平成2年	年 終了年度	平成26年	予会	会 計・	一般会計	
中百	総 目 標 名 基本目標4 人と文	化を育むまち		算	款	教育費	
坦日	合 政 策 名 11 豊かな心を育む	文化とスポーツの振興	1	科		社会教育費	
Н	計 施 策 名 33 文化の振興		-			文化費	
		ウ文化の保存・継承		市民		<u>スピス</u> 協働になじまな	1.1
		A 2 (D 4) [[] [] [] []		110 2 0 0	105 105 10 10 10 1	133 1231 - 0. 0 0. 0	
2事業概要	事業概要 洞杉の市・天然記念物I 対 象 洞杉、洞杉所有者、市B		定に伴う環境整値	備と活用。			
概要	音 図						
	○			の意識を高め			
	指標名	単位 計画 24年	E度 実績	計画	25年度 実績	達成率	26年度 計画
	活 ① 洞杉の整備	件 0	<u> </u>	可四	1	1 100.0%	1
3	動。	11 0	•		•	1 100.070	'
3 指	活 ① 洞杉の整備 動 ② 指 ③			*			
標	成 ① 洞杉を訪れた観光客数	人					
	果 2 郷土の歴史や祭りなどの伝統が継承され、自然に育まれた文 作 化が豊かであると思う市民の割合	% 40	55	4	l 1	53 129.3%	42
	標						
		24年	三度		25年度		26年度
	区 分	単位 予算現額	決算額	予算現額	決算名	頂 決算増減率	当初予算額
	①需用費	円 0	0	10, 00		0	10, 000
	支 ②委託料	円 40,000	0	37, 90		0	418, 000
	出③工事請負費	円 0	0		0	0	0
	内 ④負担金補助及び交付金	円 400,000	0 379, 260	300.00	0 200	0 , 830 –21. 2%	0
4	訳 ⑤その他 支出合計 (A)	円 400, 000 円 440, 000	379, 260	347, 90		, 830 –21. 2% , 830 –21. 2%	428, 000
コ	①国庫支出金	円 0	073, 200		0	0	0
スト	財②県支出金	円 0	0		0	0	0
愭	源③地方債	円 0	0		0	0	0
情報	内④その他(使用料、雑入等)	円 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0	0 01 01	0
	訳 ⑤一般財源 収入合計	円 440, 000 円 440, 000	379, 260 379, 260	347, 90 347, 90		, 830 —21. 2% , 830 —21. 2%	428, 000 428, 000
	人①事務事業に携わる正規職員数	人 2	2		2	2 0.0%	420, 000
	/	時間 240	240		60	120 -50.0%	60
	費 ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	1,008,000	1, 008, 000	252, 00		, 000 -50.0%	252, 000
	総 費 用 (A+B)	円 1, 448, 000	1, 387, 260	599, 90		, 830 -42. 1%	
		, ,	1, 007, 200	JJJ, JU	, UUZ,	, 500 42.170	000, 000
5 取組内容	指定に伴い洞杉を紹介する解説板と見事	・天然記念物に指定し 学者に注意を喚起する		† ≃∘			
	評価の視点 H24評価 H25評価	評価項目 <u></u> 自治体関与の妥当性	□ 1 亚业本生 3	Z 🗆 0 +4	内容 食討の余地あり		坐でたい
		目的の妥当性	☑ 1 妥当である☑ 1 妥当である	5 □2枝 5 □2枝	東討の宗地あり 食討の余地あり	<u> </u>	<u>当でない</u> 当でない
		対象の妥当性	<u>□ · 女□である</u> ☑ 1 妥当である	5 □ 2 核	食討の余地あり		コ でない 当でない
		目標達成度	□ 1 高い	√ 2 [目標どおり	□ 3 低	い・未実施
		類似事業の有無			食討の余地あり		
c		上位施策への貢献度	□ 1 高い	✓ 2 🗎	新	□ 3 低	
6 評価	効 率 性 B	コスト効率 実施主体の適正化	□ 1 高い ☑ 1 適正である	☑ 2 普 3 □ 2 ♂	^{重囲} 女善の余地あり	□ 3 低	い 正でない
価			<u>☑ - 過止である</u> ☑ 1 適正である		X書の宗地の V X善の余地あり		正でない
	1 次評価 📗 🖪	事業の進め方・内容に 余地あり		2次評価	不要		
	後に評の課題 平成25年度の文化財 (天然記: 存活用に努める。		て、適切な保	評価結果	1		

	事務事業名	音楽のまちづくり推進事業	担	課 名	教育委員会生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	2. 音楽のまちづくり推進事業	当部	係 名	文化係
1	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
本	事業期間	開始年度 平成14年 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
基本項	総 目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
目	台 以 水 名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興	科	項	社会教育費
	計 施 策 名	33 文化の振興	目	目	学びの森天神山交流館費
	画 基本事業名	33-1 芸術文化活動の推進	市	民協働の状況	協働可能だが予定なし

魚津市を「音楽を愛する街」とするため、「おんがく広場@SENZOKU魚津」への事業委託により、各種音楽事 事業概要 業を実施し、市民が音楽に気軽に親しめる環境を作り、当市の音楽文化の振興を図る。 また、とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。 事 対 象 市民、市内小中学生・保育園児 手 段 「おんがく広場@SENZOKU魚津」に事業をを委託。公的施設での出前コンサート、保育園でのコンサート、小 (活動指標) 中学生円音楽指導とコンサートを行う。とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。 市民に対し、身近に音楽を親しめる環境を作り出すことで、活気と潤いをもたらす。小中学生に対し、専門家による 直接指導により、音楽に対する関心を高めるとともに、演奏技術がアップさせる。 (成果指標)

		指標名	単位	24年			25年度		26年度
		1日 1宗 - 石	中	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 事業数	件	38	58	40	39	97. 5%	40
3	動指	② 事業支援数	件	0	4	3	2	66. 7%	3
指	標	3							
倧	成	① 音楽事業参加者数	人	2, 000	4, 248	1, 400	2, 063	147. 4%	2, 000
	果指	② 芸術文化に触れる機会が多いと思う市民の割合	%	24	35	25	30	119. 2%	26
		3							

	E /\	単位	24年	三度		25年度		26年度
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	30, 000	30, 000	30, 000	30, 000	0.0%	30, 000
支	②委託料	円	2, 300, 000	2, 300, 000	2, 200, 000	2, 200, 000	-4.3%	2, 200, 000
出		円	0	0	0	0		0
内	④負担金補助及び交付金	円	2, 400, 000	2, 400, 000	600, 000	500, 000	-79. 2%	600, 000
4 部	! ⑤その他	円	7, 000	0	7, 000	0		7, 000
=	支出合計 (A)	円	4, 737, 000	4, 730, 000	2, 837, 000	2, 730, 000	-42.3%	2, 837, 000
ス	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
] ④その他(使用料、雑入等)	円	0	0	0	0		40, 000
部	[⑤一般財源	円	4, 737, 000	4, 730, 000	52, 002, 000	51, 951, 561	998. 3%	2, 797, 000
	収入合計	円	4, 737, 000	4, 730, 000	2, 837, 000	2, 730, 000	-42.3%	2, 837, 000
人	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
件	②年間所要時間	時間	160	160	120	400	150.0%	120
費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	672, 000	672, 000	504, 000	1, 680, 000	150.0%	504, 000
総	· 費 用 (A+B)	円	5, 409, 000	5, 402, 000	3, 341, 000	4, 410, 000	-18.4%	3, 341, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

〇「おんがく広場@SENZOKU魚津」へ事業委託し、各種音楽事業を実施した。 市民のための出前コンサート、親子で楽しむコンサート、小中学生のためのコンサート及び音楽指導者派遣事業。 〇とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援した。 取 **V組内容**

	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目				内 匀	容		
				自治体関与の妥当性	<u> </u>	妥当である	ნ <u></u>	2 検討の余地	あり	□ 3	妥当でない
	妥 当 性		С	目的の妥当性	√ 1	妥当である	5 □ 2	2 検討の余地	あり	□ 3	妥当でない
				対象の妥当性	1	妥当である	ნ <u>⊽</u> 2	2 検討の余地	あり	□ 3	妥当でない
				目標達成度	1	高い	✓ 2	2 目標どおり		□ 3	低い・未実施
	有 効 性		В	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余地	あり	□ 3	あり
				上位施策への貢献度	1	高い	✓ 2			□ 3	低い
6				コスト効率	1	高い	✓ 2	2 普通		□ 3	低い
評	効 率 性		В	実施主体の適正化	√ 1	適正である	ნ □ 2	2 改善の余地	りあり	□ 3	適正でない
価				負担割合の適正化	1	適正である	ნ	2 改善の余地	はあり	□ 3	適正でない
	1 次評価		В	事業の進め方・内容	引につい.	て改善の	2 次評価	i 不要			
	(課長総括)		Ь	余地あり			乙仍計៕	小女			
	後二証	•		<u>=</u>			評				
				€を作ることで、情搏			価				
		がってきてい	る。今後は一	-般市民のニーズを批	□握し、᠄	事業内容	結				
	針び果の	見直しを図る	とともに、事	¥業の周知に取り組む	ある。	果					
	(今来						*				

古 75 古 W	+0	⊐ □ <i>h</i>	***************************************
事務事業名 新川学びの森天神山交流館運営事業	担业	課名	教育委員会生涯学習・スポーツ課
予 算 事 業 名 1. 交流館運営費	部	係 名	文化係
事業区分自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
事業期間開始年度平成14年終了年度当面継続	予	会 計	一般会計
道 総 目 標 名 基本目標 4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
合 政 策 名 10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
計 施 策 名 31 生涯学習の推進	Ш	I	学びの森天神山交流館費
画 基本事業名 31-1 学び続ける環境づくり	卡	民協働の状況	協働可能だが予定なし

(一財) 魚津市施設管理公社をを指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。ま た、学びの森音楽祭の開催や自主事業を行うことにより、魚津市が掲げる音楽のまちづくりの推進と生涯学習の場を 広く市民に提供する。 事業概要 事 対 象 施設、施設利用者、市民、各種団体等 段 (一財) 魚津市施設管理公社を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設の維持管理、施設利用料 (活動指標) の徴収、施設の利用促進のための企画の実施を行う。さらに学びの森青年会も運営する。 施設利用者(市民・文化団体・アーティスト等)が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。生涯学習の場を提供 することで、市民の学ぶことへの意欲や教養を高める。 (成果指標)

	指標名		単位	24年			25年度		26年度
			丰江	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	评	① 施設経費	円	53, 067, 000	52, 868, 320	52, 469, 000	51, 361, 380	97. 9%	61, 241, 000
3	動指	② 自主事業実施回数	口	187	187	155	146	94. 2%	160
指		3							
磦	成品	① 利用件数	件	7, 200	7, 379	7, 400	7, 450	100. 7%	7, 500
	果指	② 利用者数	人	57, 000	55, 937	57, 000	51, 974	91. 2%	58, 000
	標	③ 施設利用収入	千円	11, 200	11, 875	11, 400	11, 153	97. 8%	11, 500

			24年	E 使		25年度		26年度
	区 分	単位			マ 佐 田 佐		VL 695 (34 VA -+-	1.54
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	2, 300, 000	2, 266, 320	4, 000, 000	3, 999, 380	76. 5%	1, 000, 000
3	支②委託料	円	46, 000, 000	45, 842, 000	45, 602, 000	45, 602, 000	-0.5%	57, 374, 000
E	出③工事請負費	円	0	0	0	0		0
P	4 負担金補助及び交付金	円	0	0	0	0		0
4	尺 ⑤その他	円	30, 000	30, 000	30, 000	30, 000	0.0%	30, 000
=	支出合計 (A)	円	48, 330, 000	48, 138, 320	49, 632, 000	49, 631, 380	3. 1%	58, 404, 000
ス	①国庫支出金	円						3, 143, 000
	才 ②県支出金	円						
	原 ③地方債	円						
報	り ④その他(使用料、雑入等)	円	774, 000	478, 702	467, 000	409, 819	-14.4%	428, 000
TX E	尺⑤一般財源	円	47, 556, 000	47, 659, 618	49, 165, 000	49, 221, 561	3.3%	54, 833, 000
	収入合計	円	48, 330, 000	48, 138, 320	49, 632, 000	49, 631, 380	3. 1%	58, 404, 000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	1	-50.0%	1
1	2年間所要時間	時間	240	240	240	400	66. 7%	240
1	** ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 008, 000	1, 008, 000	1, 008, 000	1, 680, 000	66. 7%	1, 008, 000
糸	費 用 (A+B)	円	49, 338, 000	49, 146, 320	50, 640, 000	51, 311, 380	4. 4%	59, 412, 000

取 〇基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料を支払った。指定管理者が施設の維持管理、利用料金徴収業務、自主企画事業等を実 組 施した。 内 〇高圧機器取替、屋内キュービクル改修、機械室屋外階段修繕、ピアノ修繕 ロードサイン 佐かっ 容

	評価の視点	₹ H24評価	H25評価	評価項目				内	容		
	妥 当 性	+		自治体関与の妥当性 目的の妥当性	□ 1 □ 1	妥当である 妥当である		2 検討の余地2 検討の余地		☐ 3 ☐ 3	妥当でない 妥当でない
	女 コロ	-		対象の妥当性	1	妥当である	5 <u>√</u>	2 検討の余地	しあり	<u> </u>	妥当でない
				目標達成度	<u> </u>	高い	✓				低い・未実施
	有 効 性	Ē	В	類似事業の有無	<u> </u>	なし	✓		也あり	□ 3	あり
				上位施策への貢献度	✓ 1	高い		2 普通		□ 3	低い
6				コスト効率	<u> </u>	高い	✓			□ 3	低い
評	効 率 性	Ē	В	実施主体の適正化	☑ 1	適正である		2 改善の余地		□ 3	適正でない
価				負担割合の適正化	1	適正である	5 ☑	2 改善の余地	也あり	□ 3	適正でない
	1 次評価 (課長総括)		В	管理運営の進め方 善の余地あり			2次評价	不要			
	後課評	表存の利用者に トスロネ東学	対する利便性	の向上につとめる! な団体等への利用(まか、指力	定管理者	評				
	が題価	- よる日エ争未 用者の拡大を			い割らかり	いにより	価				
	↑ 及結 ↑			うる。 「、計画的な施設修約	第空 た宝	佐 l ナンノ +	結				
		式が にばならない。	当に回さんし	、可画のる心改修	信守を天	心しなり	果				

	事務事業名	新川文化ホール管理事業	担	課名	教育委員会生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	新川文化ホール管理費	当部	係 名	文化係
1	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
本	事業期間 総 目標名 政策	開始年度 平成6年 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
項	総目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
目	合 政 策 名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興	科	項	社会教育費
	計 施 策 名	33 文化の振興	目	目	新川文化ホール費
	画 基本事業名	33-1 芸術文化活動の推進	市	民協働の状況	協働になじまない

(公財) 富山県文化振興財団を指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。ま 事業概要 た、多彩な事業の実施を促し鑑賞と参加の機会を広く市民に提供する。 対 象 市民、各種団体等 段 (公財) 富山県文化振興財団を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設維持管理や利用料金徴収 (活動指標) 業務のほか、多彩な自主企画事業や魅力ある市文化祭・市美展を実施する。 施設利用者(市民・文化団体・アーティスト等)が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。施設を利用すること により文化活動が充実する。文化の情報と交流の場を市民に提供し、市民文化の創造及び振興を図る。 (成果指標)

	指標名		指 煙 夕		単位	24年			25年度		26年度
			平位	計画	実績	計画	実績	達成率	計画		
	评	① 利用件数	件	1, 500	1, 314	1, 600	1, 279	79.9%	1, 700		
3	動指	② 利用料金	円	14, 900, 000	15, 892, 899	14, 500, 000	15, 607, 358	107. 6%	15, 136, 000		
指	標	③ 文化自主事業入場者数	人	50, 000	52, 614	50, 100	52, 322	104. 4%	50, 200		
倧	成里	① 展示ホール利用率	%	68	67	69	69	100.0%	70		
	米指	② 和室·会議室利用率	%	32	30	33	30	90. 9%	34		
	標	③ 文化祭、市美展の施設利用者数 (入場者数)	人	7, 000	7, 971	7, 000	7, 589	108. 4%	7, 000		

	区分		24年			25年度		26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円						
	支 ②委託料	巴	81, 100, 000	81, 100, 000	81, 100, 000	81, 100, 000	0.0%	76, 895, 000
	出③工事請負費	円						9, 300, 000
	内 ④負担金補助及び交付金	円	6, 573, 000	5, 792, 850	3, 113, 000	3, 112, 200	-46.3%	
4	訳 ⑤ その他	円						
=	支出合計(A)	円	87, 673, 000	86, 892, 850	84, 213, 000	84, 212, 200	-3.1%	86, 195, 000
マ	①国庫支出金	円						
î,	財 ②県支出金	円						
棲	源 ③地方債	円						
掘	内 ④その他 (使用料、雑入等)	円	132, 000	205, 309	156, 000	175, 886	-14.3%	420, 000
+IX	訳 ⑤一般財源	円	87, 541, 000	86, 687, 541	84, 057, 000	84, 036, 314	-3.1%	85, 775, 000
	収入合計	円	87, 673, 000	86, 892, 850	84, 213, 000	84, 212, 200	-3.1%	86, 195, 000
	人①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	2	2	100.0%	2
	件 ②年間所要時間	時間	200	200	900	500	150.0%	360
	費 ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	840, 000	840, 000	3, 780, 000	2, 100, 000	150.0%	1, 512, 000
	総 費 用 (A+B)	円	88, 513, 000	87, 732, 850	87, 993, 000	86, 312, 200	-1.6%	87, 707, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

- 5 〇基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料を支払った。指定管理者が施設の維持管理、利用料金徴収業務、自主企画事業等を実 取 施した。

- 版 心に。 組 〇魚津市民文化祭(10月26日、27日)、第53回魚津市美術展(11月2日~7日)を開催した。 内 〇県が空調設備更新工事、放送設備改修工事を行い、市から県へ負担金を支払った。 容 〇平成25年度末で指定期間が終了するため、平成26年度から向こう5年間の指定管理者の公募選定を行った。その結果、現行の指定 管理者である(公財)富山県文化振興財団が引き続き指定管理者候補者として選定され、議会の議決を経て指定した。

						_										
	評価の)視点	评	H24評価	H25評価	評価項目					内	容				
						自治体関与の妥当性	✓ 1	妥当であり	る 🗌	2	検討の余地	あり	□ 3	妥	当でな	いに
	妥 当	有 作	生		Α	目的の妥当性	✓ 1	妥当であっ		2	検討の余地		□ 3		当でな	
						対象の妥当性	√ 1	妥当であん	る 🗌	2	検討の余地	はあり	□ 3	妥	当でな	こしい
						目標達成度	□ 1	高い	~	2	目標どおり					実施
	有效	力 忄	生		В	類似事業の有無	□ 1	なし	✓	2	検討の余地	はあり	□ 3	あ	9	
						上位施策への貢献度	√ 1	高い		2	普通				い	
6						コスト効率	□ 1	高い	~	2	普通				い	
評価	効 率	三	生		В	実施主体の適正化		適正であん		2	改善の余地		□ 3		正でな	
価						負担割合の適正化	✓ 1	適正であん	る 🗆	2	改善の余地	はあり		適	正でな	いに
	1 次	評価			В	管理運営の進め方	・内容に	ついて改	2次評	(ж	不要					
	(課長編	総括))		Ь	善の余地あり			2 次計	ІЩ	1)女					
	後○彭	亚		•		_			評							
	の課行	<u> </u> ī	市员	見が多様な芸	術文化に触れ	ιるとともに、地域α	の文化資	質の向上	価							
	方思证	^щ	こ貢	貢献する施設	となるよう指	旨定管理者と協議し つ	ていかな	ければな	結							
	針びが	i i		よい。					箱							
	後の方針)(課題及び今	K		-					果							

	事務事業名	新川文化ホール鑑賞事業	担业	課 名	教育委員会生涯学習・スポーツ課
_		新川文化ホール鑑賞事業	当部	係 名	文化係
1	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
基本	事業期間	開始年度 平成18年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平頂	総目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
1基本項目	合 政 策 名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興	科	項	社会教育費
	計 施 策 名	33 文化の振興	目	目	新川文化ホール費
	基本事業名	33-1 芸術文化活動の推進	市目	民協働の状況	協働になじまない

事業概要 新川文化ホールにおいて、児童・生徒に優れた音楽、本物の舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、芸術文化により親しみと関心を深めてもらう。 対象 市内中学生、市内全小学校の5・6年生 手段 (活動指標) 中学生美術鑑賞会(全中学生対象)、中学生舞台芸術鑑賞会(中学2年生対象)、小学生舞台芸術鑑賞会(小学5・6年生対象)を実施する。 意 図 (成果指標) 芸術文化に対する興味が高まる。豊かな心や感性・創造性が育まれる。

		指標名	単位	24年			25年度		26年度
		11 保 石	毕业	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	學讯	① 美術鑑賞会参加者数(全中学生)	人	1, 166	1, 166	1, 177	1, 177	100.0%	1, 189
3	動指	② 舞台芸術鑑賞会参加者数(中学2年生)	人	390	390	392	392	100.0%	404
頂	標	③ 舞台芸術鑑賞会参加者数 (小学5・6年生)	人	814	814	782	782	100.0%	753
磦	成田	芸術文化に触れる機会が多いと思う市民割合(市民意識満足度調査による)	%	24	35	25	30	119. 2%	26
	果指	2							
	標	3							

	区分		24年	三度		25年度		26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	250, 000	250, 000	250, 000	250, 000	0.0%	250, 000
	支②委託料	円						
	出③工事請負費	円						
	内 ④負担金補助及び交付金	円						
4	訳 ⑤その他	円	777, 000	506, 620	777, 000	770, 700	52. 1%	930, 000
ے	支出合計 (A)	円	1, 027, 000	756, 620	1, 027, 000	1, 020, 700	34. 9%	1, 180, 000
ス	①国庫支出金	円						
I.	才 ②県支出金	円						
棲	原 ③地方債	円						
	内 ④その他(使用料、雑入等)	円						
41	訳 ⑤一般財源	円	1, 027, 000	756, 620	1, 027, 000	1, 020, 700	34. 9%	1, 180, 000
	収入合計	円	1, 027, 000	756, 620	1, 027, 000	1, 020, 700	34. 9%	1, 180, 000
	人①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	2	2	100.0%	2
	件 ②年間所要時間	時間	200	200	120	400	100.0%	240
	費 ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	840, 000	840, 000	504, 000	1, 680, 000	100.0%	1, 008, 000
	総 費 用 (A+B)	円	1, 867, 000	1, 596, 620	1, 531, 000	2, 700, 700	69. 2%	2, 188, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

中学生美術鑑賞会(全中学生対象)…富山県立近代美術館所蔵作品展「アート羅針盤 きらめく色彩」10月3日西中鑑賞、4日東中取 鑑賞

取 幸原 組 中学生舞台芸術鑑賞会(中学2年生対象)…9月14日「青島広志の世界わくわく音楽紀行withブルー・アイランド楽団」 内 ハ学生舞台芸術鑑賞会(小学5・6年生対象)…10月21日「劇団四季ファミリーミュージカル『桃次郎の冒険』」

上記3事業すべて送迎にかかるバスを借り上げた。 生徒に配布する美術鑑賞会用リーフレットを作成した。

妥当でない 妥当でない 妥当でない 低い・未実施
妥当でない 妥当でない
妥当でない
4111. 丰宝饭
あり
低い
低い
適正でない
適正でない

施設管理

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

事務事業名 歴史民俗博物館管理事業	担	課名	教育委員会生涯学習・スポーツ課
予 算 事 業 名 歴民俗博物館管理費	当部	係 名	文化係
事業区分自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
事業期間 開始年度 昭和48年 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
道 総 目 標 名 基本目標 4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
合 政 策 名 10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
計 施 策 名 31 生涯学習の推進	目	目	歴史民俗博物館費
画 基本事業名 31-3 博物館の充実	市	民協働の状況	協働になじまない

2 東	事業概要	博物館の維持管理や展示・普及活動。また寄贈品の整理台帳を作成、収蔵品の適切な管理及び活用を行う。
業	対 象	博物館施設及び館収蔵品、市民
概要	手 段 (活動指標)	維持管理とそれに付随する事務作業。館内展示品等修繕、考古学教室開催による普及活動。
		博物館の継続的運営。展示施設、収蔵品の管理。館収蔵品の状態や収蔵場所、数量などの把握。 市民が博物館を利用し、収蔵品を見ることができる。

		指標名		24年	F度		25年度		26年度
		1日 保 石	単位	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 修繕を行った箇所	点	7	9	7	11	157. 1%	4
3	期指	② 収蔵点数	点	3, 423	3, 423	3, 430	3, 432	100.1%	3, 440
遁	標	③ 寄贈点数	点	10	0	10	9	90.0%	10
倧	成	① 入館者数	人	5, 500	5, 833	6, 000	6, 620	110. 3%	7, 000
	朱	② 郷土の歴史や祭りなどの伝統が継承され、自然に育まれた文化が豊かであると答えた市民の割合 (市民意識満足度調査による)	%	40	55	41	53	129.0%	42
	標	3							

	E /\	光什	24年	三度		25年度		26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	3, 906, 000	3, 689, 445	5, 148, 000	4, 863, 285	31.8%	4, 053, 000
支	②委託料	円	1, 293, 000	1, 290, 418	1, 553, 000	1, 538, 732	19. 2%	1, 329, 000
出	③工事請負費	円						
内	④負担金補助及び交付金	円	473, 000	459, 397	496, 394	496, 394	8. 1%	506, 000
⊿談		円	3, 657, 960	3, 403, 022	3, 591, 606	3, 474, 498	2. 1%	4, 214, 000
\exists	支出合計 (A)	円	9, 329, 960	8, 842, 282	10, 789, 000	10, 372, 909	17. 3%	10, 102, 000
ス	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
唐源	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	45, 000	69, 840	74, 000	199, 736	186.0%	81, 000
訴	⑤一般財源	円	9, 284, 960	8, 772, 442	10, 715, 000	10, 173, 173	16.0%	10, 021, 000
	収入合計	円	9, 329, 960	8, 842, 282	10, 789, 000	10, 372, 909	17. 3%	10, 102, 000
人	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
件	②年間所要時間	時間	940	940	600	500	-46.8%	900
費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	3, 948, 000	3, 948, 000	2, 520, 000	2, 100, 000	-46.8%	3, 780, 000
総	費 用 (A+B)	円	13, 277, 960	12, 790, 282	13, 309, 000	12, 472, 909	-2.5%	13, 882, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

- ○資料の収集整理。H26年3月に盛永俊太郎関連資料の寄贈を受け、平成26年度にかけて目録を作成する。 ○施設の管理運営に伴う事務作業を行った。 ○老朽化に伴う施設の修繕を行った。 ○消火器の交換(15本)を実施した。 ○考古学教室を2回(7月27日、8月24日)開催した。 ○小学生のための歴史副読本(くらしのうつりかわり)を作成し、小学校に配布した。 ○来館者に対し、アンケートを実施した。

	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容		
				自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗆 :	2 検討の余均	也あり	□ 3	妥当でない
	妥 当 性	Ē	Α	目的の妥当性	✓ 1	妥当であ		2 検討の余地		□ 3	妥当でない
				対象の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗆 :	2 検討の余均		□ 3	妥当でない
				目標達成度	1	高い	✓ :	2 目標どおり		□ 3	低い・未実施
	有 効 性	Ē	В	類似事業の有無	✓ 1	なし		2 検討の余均	也あり	□ 3	あり
				上位施策への貢献度	1	高い	✓ :			□ 3	低い
6				コスト効率	<u> </u>	高い		2 普通		□ 3	低い
評	効 率 性	:	В	実施主体の適正化	☑ 1	適正であ		2 改善の余均	也あり	□ 3	適正でない
価				負担割合の適正化	1	適正であ	る 🖸 :	2 改善の余均	也あり	□ 3	適正でない
	1次評価 (課長総括)		В	管理運営の進め方。 善の余地あり	内容に	ついて改	2 次評価	不要			
				音の示地のグ							
	後課価 居	1刀環接が敷は	きさわた - レロ	- 伴う ス 館老の増加っ	た刧継レ	して 屏	評				
周辺環境が整備されたことに伴う入館者の増加を契機として、展 四 一 一 一 一 一 一 一 一 一											
	↑ 及結 1/2	必要がある。		結							
	万及結 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学	·女いのの。					果				
	7										

	ソフト事業	平成	25年度実績	に関する事務	務事業 評	価表					
	事務事業名 魚津歴史民俗博物				担当	課		学習・スポ	ーツ課		
4	予 算 事 業 名 2. 歴史民俗博物館	官企画展	事業		部	係	名 文化係				
1基本項目	事業区分 自治事務				署	電話番					
本	事業期間 開始年度 昭和	62年度		当面継続	予	会	計 一般会				
項	総 目 標 名 基本目標4 人と		育むまち		算	款	教育費	-			
自	合政策名10 明日を担う人計施策名31 生涯学習の推				科	項	社会教				
					目	目		民俗博物館			
	画 基本事業名 31-3 博物館の	5			市	民協働の制	犬況 協働に	こなじまな	い		
2事業概要	事業概要 常設展とは別に、テ· 対 象 市民、県内外観光客	-マを設	とけて展示を行う	5 企画展を開館期	間中に2回	実施。					
概要	世										
	意図(成果指標)地元魚津の歴史や今	も伝わる			る。						
	指標名	単位		年度		254	牛皮	T	26年度		
			計画	実績 2	計画	2	<u>実績</u> 2	達成率 100.0%	計画		
3	活 動 指 ② 環 ③	回	2	2				100.0%	2		
3 指標	指 ②	+		1							
標	環 ③ 成 ① 企画展の入館者数	0/	2, 300	2, 416	ე	, 500	2, 810	112. 4%	2, 800		
	果ったの人既有数	%	2, 300	۷, 410		, 500	۷, ۱۵	112.4%	۷, ۵۷۷		
	果 指 (② (③)	+		1							
	伝 🐸			24年度 25年度					g - L		
	区 分	単位			マ. 答 エロ			24 Mr (A) 4 25	26年度		
	①需用費	円	予算現額 825,000	決算額 745, 321	予算現 810	. 000	決算額 382,960	決算增減率 -48.6%	当初予算額 1,210,000		
	支②委託料	円	023, 000	740, 021	010	, 000	302, 300	+0. 0/0	330, 000		
	出③工事請負費	円							000, 000		
	内(負担金補助及び交付金	円									
4	訳 ⑤その他	円	85, 040	49, 200	96	, 000	0	-100.0%	20, 000		
コ	支出合計(A)	円	910, 040	794, 521	906	, 000	382, 960	-51.8%	1, 560, 000		
ス	(l)国庫支出金	円							500.000		
ト	財②県支出金	円田							500, 000		
卜情報	源 ③地方債 内 ④その他(使用料、雑入等)	円円									
報	訳。一般財源	円	910, 040	794, 521	906	, 000	382, 960	-51.8%	1, 060, 000		
	収入合計	円	910, 040	794, 521		, 000	382, 960	-51. 8%	1, 560, 000		
	人①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3		2	2	-33.3%	2		
	件②年間所要時間	時間	540	540		480	400	-25.9%	600		
	費 ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)		2, 268, 000	2, 268, 000	2, 016		1, 680, 000	-25.9%	2, 520, 000		
	総 費 用 (A+B)	円	3, 178, 040	3, 062, 521	2, 922		2, 062, 960	-32.6%	4, 080, 000		
				0, 002, 021	2, 022	, 000	2, 002, 000	02.0/0	1, 000, 000		
5 取組内容	は 1 企画展「昭和のくらし展」及び「戦」 1 市内の小学6年生を対象に企画展の見 5	国のくら 学会を§	・し展」を開催。 実施。								
	評価の視点 H24評価 H25評価		評価項目	□ 1 □ 1 □ 1 = 1	z ¬	内とおきの会	<u>容</u>		ツァナン! ン		
	妥 当 性 A		関与の妥当性)妥当性	☑ 1 妥当であ☑ 1 妥当であ		10 1 10 1 10			当でない 当でない		
	A I		9妥当性	<u>☑ 1 妥当であ</u> ☑ 1 妥当であ					ョ <u>てない</u> 当でない		
		目標這		□ 1 高い	<u>√</u> 2				<u>コ こ </u>		
	有 効 性 💮 🗛	類似事	事業の有無	<u>□</u> 1 なし		検討の余		<u></u> 3 あ	IJ		
			策への貢献度	☑ 1 高い	_ 2			□ 3 低			
6 ⇒π			、効率	□1高い	√ 2		11b + 11	□ 3 低			
評価	B		三体の適正化	☑ 1 適正であ					正でない		
浀	1 //セミボ /エ		列合の適正化 ジャリ事業を実施	☑ 1 適正であ			・心のり	3 週.	正でない		
	1 次評価 (課長総括) A	計画と	:おり事業を実b :	心9 ることか週	2次評価	不要					
					⇒m;						
	後(課) 周辺環境が整備されたこと カスタ カスタ カスタ カスタ かっちゅう かられたこと かっちゅう かっち かっちゅう かっち かっちゅう かっち かっち かっちゅう かっち				評価結果						

	事務事業名	文化財保存事業	担业	課 名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	文化財保存事業	当部	係 名	文化係
1	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
基本	事 業 期 間	開始年度 不明 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平項	総目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
目	合 政 策 名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興	科	項	社会教育費
	計 施 策 名	33 文化の振興	目	目	文化費
	画 基本事業名	33-2 地域の歴史や文化の保存・継承	市日	民協働の状況	協働になじまない

市内にある文化財の保存・活用のため、説明看板や標柱、標識の設置を行う。 風水害による文化財の破損際の調査、修繕を行う。 文化財の保存のための整備、補助、調査を行う。 国指と・1年8月1日 「魚津のタテモン行事」をおこなうために協力している。 事業概要 2事業概 対 象 市内の文化財。 手 段 市内の文化財の保存・活用のために整備を行うと伴に、伝統的な祭りの継承に努める。 (活動指標) 市民の文化財の認知や保護への理解が深まり、適切に保存されるとともに、祭り等の伝統文化が継承される。 (成果指標)

	指標名		単位	24年			25年度		26年度
		1日 1宗 - 7口	中亚	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 文化財保存のための整備・補助の件数	件	4	4	4	7	175.0%	5
3	動指	2							
頂	標	3							
倧	成品	市民意識調査満足度・郷土の歴史や伝統が継承され、自然に育まれた文化が豊かである。	%	40	55	41	53	129.0%	42
	米指	② たてもん協力隊参加者数	人	250	245	250	281	112. 4%	320
	標	3							

			24年	E度		25年度		26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	339, 000	231, 228	629, 000	599, 817	159. 4%	1, 375, 000
3	②委託料	円	1, 980, 000	1, 428, 000	1, 178, 100	1, 178, 100	-17. 5%	1, 199, 000
Η	③工事請負費	円	1, 700, 000	1, 653, 750	0		-100.0%	0
P	④負担金補助及び交付金	円	4, 985, 000	4, 985, 000	378, 000	366, 000	-92. 7%	97, 000
4 1	⑤その他	円	259, 000	154, 500	259, 000	193, 543	25. 3%	266, 000
=	支出合計(A)	円	9, 263, 000	8, 452, 478	2, 444, 100	2, 337, 460	-72. 3%	2, 937, 000
ス	①国庫支出金	円	0	0	0	0		0
	2県支出金	円	990, 000	714, 000	588, 000	579, 000	-18.9%	0
唐初	₹ ③地方債	円	0	0	0	0		0
却	引 ④その他(使用料、雑入等)	円	0	0	0	0		0
TX i	₹⑤一般財源	円	8, 273, 000	7, 738, 478	1, 856, 100	1, 758, 460	-77. 3%	2, 937, 000
	収入合計	円	9, 263, 000	8, 452, 478	2, 444, 100	2, 337, 460	-72. 3%	2, 937, 000
J	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	3	3	-25.0%	3
4	2年間所要時間	時間	800	800	884	600	-25.0%	960
事	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	3, 360, 000	3, 360, 000	3, 712, 800	2, 520, 000	-25.0%	4, 032, 000
糸	費用(A+B)	円	12, 623, 000	11, 812, 478	6, 156, 900	4, 857, 460	-58.9%	6, 969, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5

取 組 たてもん橇の修繕。旧沢崎家の屋根の補修。 内 大沢地鎮杉の補修。解説板、標柱の設置。 たてもん協力隊の募集を市内高校及び市内企

たてもん協力隊の募集を市内高校及び市内企業に訪問して依頼。

	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容		
				自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であっ	る 🗆 :	2 検討の余地	也あり	□ 3	妥当でない
	妥 当 性		Α	目的の妥当性	1	妥当であっ		2 検討の余地		□ 3	妥当でない
				対象の妥当性	√ 1	妥当であっ	る 🗆 :	2 検討の余地		□ 3	妥当でない
				目標達成度	1	高い	✓ :	2 目標どおり		□ 3	低い・未実施
	有 効 性		В	類似事業の有無	1	なし		2 検討の余地	しあり	□ 3	あり
				上位施策への貢献度	<u> </u>	高い	✓ :			□ 3	低い
6				コスト効率	1	高い		2 普通		□ 3	低い
評	効 率 性		В	実施主体の適正化	1	適正であん		2 改善の余地		□ 3	適正でない
価				負担割合の適正化	√ 1	適正であん	る 🗆 :	2 改善の余地	しあり	□ 3	適正でない
	1 次評価		В	事業の進め方・内容	引につい っぱん かんりょう かんりょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ しゅうしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	て改善の	2 次評価	不要			
	(課長総括)			余地あり			2 1/101111	11.2			
	後二評 国			保存すべき文化遺産に		現状把握	評				
	後の方針)	行い、保存・彗	整備・活用につ	いて、検討する必要が	ぶある。		価				
	方及結 国	が「魚津のター	テモン行事」を	含む「山・鉾・屋台行	事」につ	OいてH27	結				
	野び里年			録を目指すことになっ	ったことか	いら、今後	果				
	· 今本 の	PRが求められ	ている。				*				

	事務事業名	文化財管理事業	担业	課 名	生涯学習・スポーツ課
_	予算事業名	文化財管理事業	当部	係 名	文化係
1	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
基本項目	事業期間	開始年度 昭和38年 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平項	総目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
自	合 政 策 名	10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
	計 施 策 名	33 文化の振興	目	目	文化財管理事業
	画 基本事業名	33-2 地域の歴史や文化の保存・継承	市目	民協働の状況	協働になじまない

2 東	事業概要	市内にある文化財の管理。文化財保護審議会及び博物館協議会の開催。
業	対 象	市内の文化財。
概要	手 段 (活動指標)	文化財保護審議会及び博物館協議会の開催及び未指定文化財の調査を実施し、文化財の保存や活用を図る。また博物館のより良い運営形態を図る。
	意 図 (成果指標)	未指定文化財の調査や、文化財の状況を随時確認することで、文化財の劣化や破壊を防ぎ、後世に残すことができる。

		指標名		24年			25年度		26年度
				計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 文化財保護審議会の開催	件	2	1	2	1	50.0%	2
3	期指	② 博物館協議会の開催	件	2	0	2	0	0.0%	2
頂	標	3							
倧	成品	① 文化財調査件数	件	2	1	1	1	100.0%	1
	朱指	② 新たな指定文化財件数	件	0	0	1	1	100.0%	0
	標	③ 適切な管理下にある指定文化財	件	53	53	54	54	100.0%	54

	区 分		24年	F.度		25年度		26年度
		単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	155, 000	105, 897	179, 000	91, 592	-13.5%	355, 000
3	②委託料	円	364, 000	281, 500	388, 000	220, 000	-21.8%	390, 000
L	出 ③工事請負費	円						
P	1 ④負担金補助及び交付金	円						
4	尺⑤その他	円	174, 000	61, 872	307, 000	118, 060	90.8%	321, 000
<u> </u>	支出合計(A)	円	693, 000	449, 269	874, 000	429, 652	-4.4%	1, 066, 000
ス	①国庫支出金	円						
人具	才 ②県支出金	円						
	原 ③地方債	円						
	列 ④その他(使用料、雑入等)	円						
TA I	尺⑤一般財源	円	693, 000	449, 269	874, 000	429, 652	-4.4%	
	収入合計	円	693, 000	449, 269	874, 000	429, 652	-4.4%	1, 066, 000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	3	3	-25.0%	3
4	2年間所要時間	時間	440	440	300	460	4. 5%	300
事	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 848, 000	1, 848, 000	1, 260, 000	1, 932, 000	4. 5%	1, 260, 000
糸	費 用 (A+B)	円	2, 541, 000	2, 297, 269	2, 134, 000	2, 361, 652	2. 8%	2, 326, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5 取 平成25年5月8日に、「洞杉及び岩上植物群落」を市の天然記念物として指定した。 組 文化財保護審議会で議題となった「火祭り」の調査を実施した。 容 県指定史跡である松倉城跡の草刈りを2回実施した。

	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容		
				自治体関与の妥当性	√ 1	妥当である		2 検討の余地		□ 3	妥当でない
	妥 当 性	Ē	Α	目的の妥当性	√ 1	妥当である		2 検討の余地		□ 3	妥当でない
				対象の妥当性	√ 1	妥当である	ව	2 検討の余地	りあり	□ 3	妥当でない
				目標達成度	1	高い	>	2 目標どおり		□ 3	低い・未実施
	有 効 性	Ē	В	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余地	あり	□ 3	あり
				上位施策への貢献度	□ 1	高い	✓			□ 3	低い
6				コスト効率	<u> </u>	高い		2 普通		□ 3	低い
評	効 率 性	:	В	実施主体の適正化	√ 1	適正である		2 改善の余地			適正でない
価				負担割合の適正化	√ 1	適正である	გ <u></u>	2 改善の余地	りあり	□ 3	適正でない
	1 次評価		В	事業の進め方・内容	家につい	て改善の	2 次評価	不要			
	(課長総括)		Ь	余地あり			乙扒叶顺	小女			
	後課評			<u>=</u>			評				
	の無価・大	アル サル 雑字等	▲ ひょご は 地点の	富協議会で出された意	5日生1-	#ベ キ	価				
	方とは「ス										
	プス結 文化財の管理や博物館等の運営の改善に努める					ි	結				
	^カ 及結 ⇒び果 ○ ○ ○ ○ へ果						果				
	,										

ソフト事業	平成	25年度実績(こ関する事務	事業評	価表					
事務事業名 文化財保護団体育原	龙事業			担	課	名 生涯	学習・スポ	ーツ課		
予 算 事 業 名 文化財保護団体育原				当	係	名 文化		e ari		
1 事業区分自治事務				部 署	電話		5-23-1045			
基 東 業 期 問 開始年度 平成10	6年度	終了年度	当而継続	予	会		会計			
A		すむまち	— ш пт пт пос			款 教育				
項 台 時 名 基本目標4 人となる 日 み 策 名 10 明日を担う人		1000			科項社会教育費					
計 施 策 名 33 文化の振興				— i						
	や文化	の保存・継承		市	市民協働の状況 協働している					
金本事未有 00 Z 地域の歴史	. \- \	07 木 行		114.		V TOL IMIE	10 (0.0)			
事業概要 指定無形民俗文化財のなる活動や魚津の歴史	を研究	する歴史同好会			助金を	交付し、文化	ヒ財の保存・	継承に必要と		
事 対 象 指定無形民俗文化財保存団体。 概 手 段 冬保存団体において、郷土に伝わる文化財の保存・継承が行われる										
要(活動指標) 日本行口体にありて、加工に囚力を入口がの体行 にかが打力がある。										
意図 保存会等の活動が活発 (成果指標) や伝統についての調査			財が適切に保存 	・継承さ <i>†</i>			好会会員によ			
指標名	単位	24年		31.14±		25年度	達出家	26年度		
活 (1) 指定無形民俗文化財保護団体の維持	件	計画 4		計画	4	実績	達成率	計画 4		
	- ''	·	•				100.0%			
3 動 ② ② ③ ③										
「□ 成 (1) 保存・継承されている無形民俗文化財の数	件	4	4		4	4	100.0%	4		
果										
標 ③										
		24年	E度			25年度		26年度		
区 分	単位	予算現額	決算額	予算現		決算額	決算増減率	当初予算額		
①需用費	円	V 31 32 AV	0 (3) 70 (• 51 52		0 (3) 70 (2 (3) (1)			
支 ②委託料	円									
出③工事請負費	円									
内④負担金補助及び交付金	円	590, 000	590, 000		000	230, 000	-61.0%	230, 000		
=n (F) 7- 10 /14	ш	141 000	Λ .	61	ΛΛΛ	60 200	`			
1 訳 ⑤その他	円	141, 000 731, 000	590 000		000	60, 200 290, 200		60, 000		
4 訳 ⑤その他 支出合計 (A)	円円	141, 000 731, 000	590, 000		000	60, 200 290, 200				
1 訳 ⑤その他	円 円 円							60, 000		
4 訳 (3) までの他 支出合計(A) (1) 国庫支出金 (2) 県支出金 源(3) 地方債	円 円 円 円							60, 000		
3 訳 ⑤その他 支出合計 (A) ①国庫支出金 ②県支出金 源 ③地方債 内 ④その他(使用料、雑入等)	円 円 円 円 円	731, 000	590, 000	291,	000	290, 200	-50.8%	60, 000 290, 000		
4 訳 ③その他 支出合計(A) 支出合計(A) ①国庫支出金 ②県支出金 ③地方債 村内 ④その他(使用料、雑入等) ③一般財源	円 円 円 円 円	731, 000	590, 000	291,	000	290, 200	-50. 8% -50. 8%	60, 000 290, 000 290, 000		
4 コスト 情 内 個 で	円 円 円 円 円 円	731, 000 731, 000 731, 000	590, 000 590, 000 590, 000	291,	000	290, 200 290, 200 290, 200	0 -50. 8% 0 -50. 8% 0 -50. 8%	290, 000 290, 000 290, 000 290, 000		
4 ココスト 情報 1 コスト 情報 1 日本 大 日本	円円円円円円円円円円	731, 000 731, 000 731, 000 2	590, 000 590, 000 590, 000 2	291,	000 000 000 3	290, 200 290, 200 290, 200	0 -50. 8% 0 -50. 8% 0 -50. 8% 8 50. 0%	290, 000 290, 000 290, 000 290, 000 3		
4 コスト 情報 1 コスト 情報 1 国庫支出金 1 ②県支出金 1 ②県支出金 1 ②県支出金 1 ②県支出金 1 ②県支出金 2 ○原支出金 2 ○原支出金 3 ○一般財源 収入合計 人 ①事務事業に携わる正規職員数 4 ②年間所要時間	円円円円円円円円 時間	731,000 731,000 731,000 2 460	590, 000 590, 000 590, 000 2 460	291, 291, 291,	000 000 000 3 60	290, 200 290, 200 290, 200 3	0 -50. 8% 0 -50. 8% 0 -50. 8% 50. 0% 0 -52. 2%	290, 000 290, 000 290, 000 290, 000 3 60		
4 訳 (多その他 支出合計 (A) (1) 国庫支出金 財 ②県支出金 (1) ②県支出金 (1) ③ 地方債 (1) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	731, 000 731, 000 731, 000 2 460 1, 932, 000	590, 000 590, 000 590, 000 2 460 1, 932, 000	291, 291, 291,	000 000 000 3 60 000	290, 200 290, 200 290, 200 3 220 924, 000	0 -50. 8% 0 -50. 8% 0 -50. 8% 0 -50. 8% 50. 0% 0 -52. 2% 0 -52. 2%	290, 000 290, 000 290, 000 290, 000 3 60 252, 000		
4 記 (多子の他 支出合計 (A) (1) 国庫支出金 (2) 原支出金 (2) 原支出金 (3) 地方債 (4) (5) 一般財源 (収入合計 (4) (4) (4) (2) 年間所要時間 費 (3) (4) (2) (4) (2) (4) (2) (4) (4) (8) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	円円円円円円人 時間円	731, 000 731, 000 731, 000 2 460 1, 932, 000 2, 663, 000	590, 000 590, 000 590, 000 2 460	291, 291, 291,	000 000 000 3 60	290, 200 290, 200 290, 200 3	0 -50. 8% 0 -50. 8% 0 -50. 8% 0 -50. 8% 50. 0% 0 -52. 2% 0 -52. 2%	290, 000 290, 000 290, 000 290, 000 3 60		
4 訳 ③その他 支出合計(A) 支出合計(A) ①国庫支出金 ②県支出金 ③地方債 4 その他(使用料、雑入等) ⑤一般財源 収入合計 人 ①事務事業に携わる正規職員数 (②年間所要時間費 費 ③人件費(②×@4,200円)(B)	円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	731,000 731,000 731,000 2 460 1,932,000 2,663,000 び改善内容	590, 000 590, 000 590, 000 2 460 1, 932, 000	291, 291, 291,	000 000 000 3 60 000	290, 200 290, 200 290, 200 3 220 924, 000	0 -50. 8% 0 -50. 8% 0 -50. 8% 0 -50. 8% 50. 0% 0 -52. 2% 0 -52. 2%	290, 000 290, 000 290, 000 290, 000 3 60 252, 000		
3 その他 支出合計(A) ①国庫支出金 ②県支出金 源 ③地方債 内の他(使用料、雑入等) ③一般財源 収入合計 人(中費(②×@4,200円)(B) 総費用(A+B) 平成25年度に取り組んだ事務事業の 15 取 組 中 全国山・鉾・屋台保存連合会総会へ出 容	円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	731,000 731,000 731,000 2 460 1,932,000 2,663,000 び改善内容	590, 000 590, 000 590, 000 2 460 1, 932, 000	291, 291, 291,	000 000 000 3 60 000 000	290, 200 290, 200 290, 200 3 220 924, 000 1, 214, 200	0 -50. 8% 0 -50. 8% 0 -50. 8% 0 -50. 8% 50. 0% 0 -52. 2% 0 -52. 2%	290, 000 290, 000 290, 000 290, 000 3 60 252, 000		
本 : (ままり) (1) (1) (2) (2) (2) (4) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	731,000 731,000 731,000 2 460 1,932,000 2,663,000 び改善内容 助。	590, 000 590, 000 590, 000 2 460 1, 932, 000 2, 522, 000	291, 291, 291, 252, 543,	000 000 000 3 60 000 000	290, 200 290, 200 290, 200 3 220 924, 000 1, 214, 200	0 -50.8% 0 -50.8% 0 -50.8% 50.0% 0 -52.2% 0 -52.2% 0 -51.9%	60, 000 290, 000 290, 000 290, 000 3 60 252, 000 542, 000		
3 その他 支出合計(A)	円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	731,000 731,000 731,000 2 460 1,932,000 2,663,000 び改善内容 助。	590,000 590,000 590,000 2 460 1,932,000 2,522,000	291, 291, 291, 252, 543,	000 000 000 3 60 000 000 000	290, 200 290, 200 290, 200 3 220 924, 000 1, 214, 200	0 -50.8% 0 -50.8% 0 -50.8% 3 50.0% 0 -52.2% 0 -52.2% 0 -51.9%	60,000 290,000 290,000 290,000 3 60 252,000 542,000		
3	円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	731,000 731,000 731,000 2 460 1,932,000 2,663,000 び改善内容 助。	590,000 590,000 590,000 2 460 1,932,000 2,522,000	291, 291, 291, 252, 543,	000 000 000 3 60 000 000 000	290, 200 290, 200 290, 200 3 220 924, 000 1, 214, 200 7 か余地あり か余地あり	0	60,000 290,000 290,000 290,000 3 60 252,000 542,000		
3 その他 支出合計(A)	円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	731,000 731,000 731,000 2 460 1,932,000 2,663,000 び改善内容 助。	590,000 590,000 590,000 2 460 1,932,000 2,522,000 ☑ 1 妥当である ☑ 1 妥当である	291, 291, 291, 291, 252, 543, 543, 543, 543, 543, 543, 543, 543	O00	290, 200 290, 200 290, 200 220 924, 000 1, 214, 200 の余地あり の余地あり	0	60,000 290,000 290,000 290,000 3 60 252,000 542,000		

	評価の	の移	見点	H24評価	H25評価	評価項目						容			
						自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗌	2	検討の余地		3	妥当でない	
	妥	当	性		Α	目的の妥当性	✓ 1	妥当であ		2	検討の余地			妥当でない	
						対象の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗌	2	検討の余地		3	妥当でない	
						目標達成度	1	高い	>	2	目標どおり			低い・未実施	b
	有多	効	性		В	類似事業の有無	√ 1	なし		2	検討の余地	はあり		あり	
						上位施策への貢献度	1	高い	~	2	普通			低い	
6						コスト効率	<u> </u>	高い	✓	2	普通			低い	
評価	効 3	率	性		В	実施主体の適正化	√ 1	適正であ		2	改善の余地			適正でない	
価						負担割合の適正化	√ 1	適正であ	る	2	改善の余地	はあり	3	適正でない	
	1 次	:評	価		В	事業の進め方・内容	学につい.	て改善の	2次評	Æ	不要				
	(課長	総技	舌)		Ь	余地あり			乙扒叶	ІЩ	小女				
	後二	亚		•		='			評						
	の頭	価	\ \ \	化时促发团体	ま草絵ルの油	展により、活動の約	生せ が帯	1 / 1:0	価						
	方 及	灶				補助していく必要な		しくなり	結						
	針び	旧田	١,	2 (3), 7	及り胚別して	一冊明していて必安な	0.00,00°		果						
	後の方針)	木							未						

事務事業	名 芸術文化振興事業	担	課名	教育委員会生涯学習・スポーツ課
予算事業	名 芸術文化振興事業	部	係 名	文化係
事業区	分 自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
事業期	間 開始年度 不明 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
項総目標	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
合 政 策	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興	科	項	社会教育費
計施策	33 文化の振興	目	目	文化費
画 基本事業	33-1 芸術文化活動の推進	市.	民協働の状況	協働になじまない

2		市民に優れた音楽・舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、文化芸術の裾野の拡大と振興を図る。 文化団体の育成を図る。
世	対 象	①市民、②市内文化団体(文化協会、市美協)、③市内小中学生
概要		国県等の補助事業を利用した公演を開催する。芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援する。 文化事業の後援共催、文化芸術団体との連絡調整を行う。
	意 図 (成果指標)	①市民の芸術文化に対する関心が高ます。自らの芸術活動の活性化が図られる。②会員の資質及び活動への参加意欲の向上。③小中学生が芸術文化に親しむようになる。

		指標名	単位	24年			25年度		26年度
		1日 1示 41		計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	草斑	① 国県等の補助事業開催数	件	3	3	5	5	100.0%	5
3	期指	② 中学校文化連盟事業	件	15	15	12	12	100.0%	12
頂	標	3							
倧	成	① 文化祭への参加人数	人	6, 000	6, 121	6, 000	5, 778	96.3%	6, 000
	朱指	② 市美展出品数(一般、招待)	点	240	234	240	234	97.5%	240
	標	③ 市美展入場者数	人	1, 800	1, 850	1, 900	1, 811	95.3%	1, 900

	区分		24年	F度		25年度		26年度
	区 ガ	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	30, 000	30, 000	230, 000	177, 187	490.6%	30, 000
3	②委託料	円	673, 000	656, 970	60, 000	0	-100.0%	
브		円						
P	④負担金補助及び交付金	円	678, 000	677, 300	694, 000	693, 800	2. 4%	50, 000
4 1	₹ ⑤その他	円	2, 543, 000	2, 459, 030	500, 000	323, 147	-86. 9%	844, 000
<u> </u>	支出合計(A)	円	3, 924, 000	3, 823, 300	1, 484, 000	1, 194, 134	-68.8%	924, 000
ス	①国庫支出金	円						
	2県支出金	円						
	₹ ③地方債	円						
	引 ④その他(使用料、雑入等)	円	12, 000	1, 029, 160	28, 000	28, 844	-97. 2%	28, 000
司	₹ ⑤一般財源	円	3, 912, 000	2, 794, 140	1, 456, 000	1, 165, 290	-58.3%	896, 000
	収入合計	円	3, 924, 000	3, 823, 300	1, 484, 000	1, 194, 134	-68.8%	924, 000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
14	②年間所要時間	時間	460	460	600	500	8. 7%	900
事	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 932, 000	1, 932, 000	2, 520, 000	2, 100, 000	8. 7%	3, 780, 000
糸	費用(A+B)	円	5, 856, 000	5, 755, 300	4, 004, 000	3, 294, 134	-42.8%	4, 704, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

- 〇国県等の補助事業を利用した公演(宝くじ文化公演、次代を担う子どもの芸術体験事業等)を開催した。また、国県等の補助事業
- 〇国県寺の補助事業を利用した公演(宝くし又化公演、次代を担う子ともの芸術体験事業寺)を開催した。また、国県寺の補助事業について、学校、新川文化ホール、新川学びの森天神山交流館、公民館等に照会し要望があれば申請を行った。 〇芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援した。文化協会主催の「青木新門講演会」、市美協主催の「第14回会員展」等を支援した。 〇文化事業の後援・共催の承認手続きを行った。 〇H24年12月に諏訪部庸甫氏から自身の作品の寄贈を受け、新川文化ホールにて「諏訪部庸甫展」(会期:平成25年6月7日~8月
- 19日) を開催した。

	評価の	視点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容		
					自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗆 2	2 検討の余地	1あり	□ 3	妥当でない
	妥 当	性		Α	目的の妥当性	√ 1	妥当であ		2 検討の余地		□ 3	妥当でない
					対象の妥当性	√	妥当であ	る 🗆 2	2 検討の余地		□ 3	妥当でない
					目標達成度	1	高い	✓ 2	2 目標どおり		□ 3	低い・未実施
	有 効	性		Α	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余地	はあり	□ 3	あり
					上位施策への貢献度	1	高い		2 普通		□ 3	低い
6					コスト効率	1	高い		2 普通		□ 3	低い
評価	効 率	性		В	実施主体の適正化	✓ 1	適正であ		2 改善の余地		□ 3	適正でない
価					負担割合の適正化	1	適正であ	る 🗆 2	2 改善の余地	はあり	□ 3	適正でない
	1 次評 (課長総			Α	計画どおり事業を男 当	ミ施する!	ことが適	2 次評価	不要			
	後の方針) (課題及び今	幅が芸術		術文化に触れ に取り組む必	られる機会を拡大し 要がある。	しながら .	、市内の	評価結果				

	ノノドザ木	十八 20十尺大順に因りの事が事。	₹ □TΙ	叫 1 X	
	事務事業名	埋蔵文化財調査室管理事業	担	課名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	埋蔵文化財調査室管理事業	当部	係 名	文化係
1	事業区分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
基本項目	事業期間	開始年度 昭和27年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平 項	総 目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
自	合 政 策 名	10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
	計 施 策 名	33 文化の振興	目	目	埋蔵文化財調査室管理事業
	画 基本事業名	33-2 地域の歴史や文化の保存・継承	市	民協働の状況	協働になじまない
		里蔵文化財調査室の施設管理を適切に行い、発掘調査によって出	土した	埋蔵文化財を	整理し、管理・収蔵及び調査報
0		告書の作成等を行う。			

象 発掘された埋蔵文化財及び発掘調査記録。 段 出土品及び記録保存された図面等に対する適切な整理・収蔵。 (活動指標) 発掘された埋蔵文化財が適切に整理、管理、収蔵される。これにより魚津の文化財として適切に保存されることになる。 (成果指標)

	指標名	単位	24年	F 度			26年度	
		丰江	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	1 発掘遺物量	箱	15	10	15	22	146. 7%	15
3	期 ②							
指	標 ③							
標	① 収蔵遺物量	箱	15	10	15	22	146. 7%	15
	果 指							
	標 ③							

	区 分		24年	三度		25年度		26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	941, 000	820, 783	1, 041, 000	772, 753	-5.9%	387, 000
3	②委託料	円						
H		円						
P	④負担金補助及び交付金	円						
4		円	36, 000	31, 317	36, 000	31, 464	0. 5%	36, 000
<u> </u>	支出合計(A)	円	977, 000	852, 100	1, 077, 000	804, 217	-5.6%	423, 000
ス	①国庫支出金	円	977, 000	852, 100	1, 077, 000	783, 087	-8. 1%	
ト月	2県支出金	円						
棲	③地方債	円						
	到 ④その他(使用料、雑入等)	円						
The state of	③一般財源	円				21, 130		423, 000
	収入合計	円	977, 000	852, 100	1, 077, 000	804, 217	-5.6%	423, 000
	(①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	3	3	50.0%	3
14		時間	270	270	240	300	11. 1%	60
事	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 134, 000	1, 134, 000	1, 008, 000	1, 260, 000	11. 1%	252, 000
糸	費 用 (A+B)	円	2, 111, 000	1, 986, 100	2, 085, 000	2, 064, 217	3.9%	675, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5 取 組 国道8号バイパス建設等の遺跡試掘調査や市内埋蔵文化財包蔵地の分布調査で採集した遺物整理作業及び報告書作成作業を実施し 内 容

	評価の視	点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容			
	妥 当	性		Α	自治体関与の妥当性 目的の妥当性 対象の妥当性	✓ 1 ✓ 1 ✓ 1	妥当であ 妥当であ 妥当であ	<u>=</u> อี 🗆 :	2 検討の余地2 検討の余地2 検討の余地	はあり	☐ 3 ☐ 3 ☐ 3	妥当でない 妥当でない 妥当でない	
	有 効	上位旗				☐ 1 ☑ 1 ☐ 1	高い なし 高い	= :	2 目標どおり 2 検討の余地 2 普通		3 3 3	低い・未実施 あり 低い	
6評価	コスト効率 効率性 B 実施主体の適正化 負担割合の適正化					□ 1 ▽ 1 ▽ 1	高い 適正であ 適正であ	る <u> :</u>	2 普通 2 改善の余地 2 改善の余地		3 3 3	低い 適正でない 適正でない	
	1 次評代 (課長総括			В	事業の進め方・内容 余地あり	引につい.	て改善の	2次評価	不要				
	後の方針) (課題及び今			収蔵整理する する必要があ	・ 埋蔵文化財調査室に る。	は必要で	あり、収	評価結果					

	事務事業名	遺跡試掘調査事業	担业	課 名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	遺跡試掘調査事業	当部	係 名	文化係
1	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
基本	事業期間	開始年度 不明 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平頂	総目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
1基本項目	合 政 策 名	10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
	計 施 策 名	33 文化の振興	目	目	遺跡試掘調査事業
	画 基本事業名	33-2 地域の歴史や文化の保存・継承	市国	民協働の状況	協働になじまない

事業概要 開発対象区内にある埋蔵文化財包蔵地において、遺跡の有無や範囲を確認するための試掘調査を行う。 埋蔵文化財包蔵地の範囲確認のための、分布調査を実施する。 松倉城郭群の詳細調査を実施する。 対象 開発対象地区内にある埋蔵文化財包蔵地等。 手 段 (活動指標) や松倉城郭群の詳細調査を実施する。 「意図 (成果指標) には近端調査を実施する。 は掘結果に基づき、開発予定地内における本発掘調査の有無について判断する。市内分布調査についてはその結果の報告書を刊行する。松倉城郭群詳細調査については、調査結果を取りまとめ、松倉城郭群調査検討委員会で報告する。

		指標名	単位	24年	F度		25年度		26年度
		11 保 名	中江	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 試掘調査実施件数	件	0	0	2	2	100.0%	3
3	動指	② 分布調査日数	日	0	0	30	27	90.0%	8
擅	標	③ 松倉城郭群の詳細調査(城下町・聞き取り・史料・地籍図の各調査)	件	0	0	2	2	100.0%	2
磦	成	1 試掘調査結果に基づく本発掘調査有無の判断件数	件	1	1	2	2	100.0%	3
	朱指	② 分布調査報告書の刊行	件	0	0	1	1	100.0%	1
		③ 松倉城郭群検討委員会への調査結果の報告	件	0	0	1	1	100.0%	1

	区公		24年	F.度		25年度		26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円			500, 510	449, 836		500, 000
3	支②委託料	円	189, 000	9, 630	1, 085, 540	1, 085, 540	11172.5%	2, 000, 000
L	出③工事請負費	円						
P	り④負担金補助及び交付金	円			3, 000	2, 457		3, 000
4	尺⑤その他	円	403, 000	84, 000	471, 950	469, 670	459.1%	673, 000
=	支出合計(A)	円	592, 000	93, 630	2, 061, 000	2, 007, 503	2044. 1%	3, 176, 000
ス	①国庫支出金	円			1, 000, 000	1, 000, 000		1, 500, 000
	才 ②県支出金	円	296, 000		500, 000	500, 000		750, 000
	原 ③地方債	円						
	り ④その他(使用料、雑入等)	円			1, 000	907		1, 000
**	尺⑤一般財源	円	296, 000	93, 630	560, 000	506, 596	441.1%	925, 000
	収入合計	円	592, 000	93, 630	2, 061, 000	2, 007, 503	2044. 1%	3, 176, 000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
1	2年間所要時間	時間	540	540	900	700	29.6%	1, 200
1	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	2, 268, 000	2, 268, 000	3, 780, 000	2, 940, 000	29.6%	5, 040, 000
糸	費 用 (A+B)	円	2, 860, 000	2, 361, 630	5, 841, 000	4, 947, 503	109.5%	8, 216, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

取 埋蔵文化財包蔵地内における試掘調査を2件実施した。

5

市内遺跡詳細分布調査として松倉地区、上中島地区の2か所の分布調査を実施した。

松倉城郭群の詳細調査では、城下町の分布調査、地名・伝承等の聞き取り調査、地籍図調査等を実施した。

	評価	iのt	見点	H24評価	H25評価	評価項目					内	容				
						自治体関与の妥当性	✓ 1	妥当であり	る 🗆	2	検討の余地	あり	□ 3	妥当	当でなし	١
	妥	当	性		Α	目的の妥当性	✓ 1	妥当であん		2	検討の余地		□ 3		当でなし	
						対象の妥当性	√ 1	妥当であり	る 🗌	2	検討の余地	りあり	□ 3	妥当	当でなし	
						目標達成度	1	高い	✓	2	目標どおり		□ 3	低し	ヽ・未す	€施
	有	効	性		Α	類似事業の有無	✓ 1	なし		2	検討の余地	りあり	□ 3	あり	J	
						上位施策への貢献度	√ 1	高い		2	普通		□ 3	低し	.1	
6						コスト効率	1	高い		2	普通		□ 3			
評価	効	率	性		В	実施主体の適正化	✓ 1	適正であん		2	改善の余地		□ 3		Eでなし	
価						負担割合の適正化	√ 1	適正であん	る 🗆	2	改善の余地	りあり	□ 3	適エ	Eでなし	١
	1 }	欠評	価		^	計画どおり事業を乳	€施する	ことが適	2 次評化	Ή,	不要					
	(課長総括)					当			乙次計	Щ	小女					
	後興評 埋蔵文化財包蔵地は、開発業者・建設業者には							の公田本	評							
	の調	· /二							価							
	● かり が見価 は理解されているが、一般市民には存在そのも ・							んしいは								
	針び出し、一句では、中氏の日の油くところに埋蔵又10						72000	の地凶を	結							
	後(課評								果							
	7															

	ソフト事業		平成	25年度実績	責に関	見する事務	事業	評価	表				
	事務事業名	国道8号バイパス遺	跡調査	事業						1 生涯等	学習・スポ	ーツ課	
4	予算事業名	国道8号バイパス遺	跡調査	事業						文化			
1 世	事業区分	自治事務						署	電話番 号				
基本項目	事業期間	開始年度 平成19		終了年月	度 平月	成25年度		予					
項	総目標名	基本目標4 人と7		育むまち				算	款	教育費			
ΙÉ	合 政 策 名	10 明日を担う人で	づくり					科	項	社会教	改育費		
	計 施 策 名	33 文化の振興						I	目	国道8	号バイパス	く遺跡調査事業	
	画 基本事業名	33-2 地域の歴史	や文化	の保存・継承				市民	協働の状況	協働は	こなじまな	い	
2 事業		善黒部バイパス建設						った発	掘調査及で	び出土品	等の整理を	⋶実施する。	
事業概要	`			跡に対しての調査報告書を刊行。 									
	意図 埋蔵文化財包蔵地の範囲、内容を確認し、発掘調査実施の有無や積算根拠となる記録収集を行い、調査報告書を刊行 (成果指標) する。調査後には、バイパス建設工事が予定通り実施される。											配報告書を刊行	
	指:	 標 名	単位		4年度				25年度			26年度	
				計画	4	<u>実績</u>	Ē	画		<u> [績</u>	達成率	計画	
3	活 ① 発掘調査完 動 ② 計量調本報	」 退跡数	件		1	4			0	0	100.00/		
指	15 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	古書の刊行	件	-)	0			2	2	100.0%		
標	標多數理作業法	-	0.	7.	_	75		10	0	100	100.00/		
TU.		队	%	75)	75		10	JU	100	100.0%		
	果												
	標 (3)												
	区	分	単位		4年度	VI. foto data	→ <i>l</i> =/		25年月			26年度	
				予算現額 3,543,000		決算額 2 262 F10		更現額 160, 00		算額	決算増減率 7 GW	当初予算額	
	①需用費 ②委託料		円円	3, 543, 000		2, 362, 519 2, 997, 750		50, 00 50, 00		83, 148 51, 500	-7. 6% -84. 9%		
	出③工事請負費	円	3, 000, 000	_	2, 991, 130		30, 00	70 4	31, 300	-04.9%			
	内④負担金補助及び交付金			76.000)	51, 395		38. 00	00	33, 331	-35. 1%		
4	記るこの他	円円	8, 682, 000		7, 541, 825	3, 4	80, 00		72, 680	-61.9%			
4 コ	去山〇計 (A)		円	15, 301, 000		12, 953, 489	6, 5	28, 00		40, 659	-57. 2%	0	
ス	□ □ 国庫支出金		円	15, 273, 000)	12, 914, 900	6, 5	15, 00	00 5, 5	06, 913	-57. 4%		
î,	財 (2)県支出金		円										
情	源③地方債	円	20.00		10 457		10.00	\ <u>0</u>	11 070	0.0 00/			
報	内④その他(使用	月料、雜人等)	円田	28, 000)	18, 457		13, 00		11, 672 22, 074	-36. 8% 9. 6%		
	訳 ⑤一般財源 収入合計		円円	15, 301, 000)	20, 132 12, 953, 489	6 5	28, 00		40. 659	-57. 2%	0	
		携わる正規職員数	人	, ,	1	12, 933, 409	0, 0		2	2	-50. 0%	0	
	件 ②年間所要時間		時間	1, 400	-	1, 400		60		600	-57. 1%		
		(@ 4,200 円) (B)		5, 880, 000		5, 880, 000	2 5	520, 00		520, 000		0	
			円										
	総費用(A+	В)	円	21, 181, 000	,	18, 833, 489	9, 0	048, 00	00 8,0	60, 659	-57. 2%	0	
5 取組内容	、 平成19年度から実 告書の2冊を刊行し		建設に	半う試掘調査 <i>0</i>)調査	報告書と平成	₹20、21	年度に			「の本発掘	調査の調査報	
	評価の視点 H24	4評価 H25評価		評価項目		1 11111-1	7 -	10	<u> 内 </u>			V == +>1 ·	
	妥 当 性	Α		:関与の妥当性)妥当性	▽		<u>る</u>		_{食討の余地} 食討の余地			当でない 当でない	
	у э II)妥当性)妥当性		<u>- 安ヨであ</u> 1 妥当であっ	<u>ა</u> _		対の余地		□ 3 妥	ョでない 当でない	
			目標這	 能成度		<u>・ スコマの</u> 1 高い	[~] 2	目標どおり			<u>ハ・未実施</u>	
	有 効 性	В	類似事	事業の有無	~	1 なし		2 核	食討の余地	あり	<u></u> 3 あ	IJ	
			上位施	策への貢献度		1 高い] 2 音	手通		□ 3 低(۸,	
6		_	コスト			1 高い			通		□ 3 低(
評価	効 率 性	В		三体の適正化	<u></u>				女善の余地			Eでない	
伳				列合の適正化	<u> </u>		<u>ර</u> [] 2 7	女善の余地	あり	□ 3 適	Eでない	
	1次評価	В)進め方・内容	につし	いて改善の	2次評	価	不要				
	(課長総括)	_	余地を	ワツ									
	後 課 の 所 方 及 新 び 今 名 名 で り 名 表 り の 男 の 男 の 男 の り り り り り り り り り り り り	そもって事業完了した					評価結果						

	事務事業名	保健体育一般管理事業	担	課 名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	保健体育一般管理費	当部	係 名	スポーツ係
1	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1046
基本項目	事 業 期 間	開始年度 昭和52年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
項系	8 目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	10. 教育費
自合	政 策 名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興	科	項	6. 保健体育費
言	T 施 策 名	34 生涯スポーツ・レクリエーションの振興	目	目	1. 保健体育総務費
直	基本事業名	34-1 生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市	民協働の状況	協働になじまない

	指標名	単位	24年	F.度		25年度		26年度
	1月 1宗 2日	中亚	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	1 スポーツ推進審議会の開催	口	1	1	1	1	100.0%	1
3	期 ②							
1月	標 ③							
憬	成 ① 週に1回以上スポーツをする人の割合	%	35. 0%	26. 7%	40.0%	33. 2%	83.0%	40
	指 ②							
	標 ③							

	区 分	単位	24年	F度		25年度		26年度
		中亚	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	田	711, 000	686, 040	259, 000	219, 782	-68.0%	167, 000
	支 ②委託料	円						
	出③工事請負費	円						
	内④負担金補助及び交付金	円	4, 527, 000	4, 274, 138	4, 527, 000	4, 262, 454	-0.3%	4, 507, 000
4	訳 ⑤その他	円	533, 000	443, 313	548, 000	393, 183	-11. 3%	259, 000
=	支出合計 (A)	円	5, 771, 000	5, 403, 491	5, 334, 000	4, 875, 419	-9.8%	4, 933, 000
ス	①国庫支出金	円						
1	財②県支出金	円						
僖	源③地方債	円						
	内 ④その他(使用料、雑入等)	円	5, 000	2, 717	2, 000	2, 258	-16. 9%	2, 000
114	訳⑤一般財源	円	5, 766, 000	5, 400, 774	5, 332, 000	4, 873, 161	-9.8%	4, 931, 000
	収入合計	円	5, 771, 000	5, 403, 491	5, 334, 000	4, 875, 419	-9.8%	4, 933, 000
	人 ①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	件 ②年間所要時間	時間	900	900	900	800	-11.1%	800
	費 ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	3, 780, 000	3, 780, 000	3, 780, 000	3, 360, 000	-11.1%	3, 360, 000
	総 費 用 (A+B)	円	9, 551, 000	9, 183, 491	9, 114, 000	8, 235, 419	-10.3%	8, 293, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

取組内容

- ・魚津市スポーツ推進審議会の開催・・県派遣の社会教育主事の受け入れ・「魚津市の生涯スポーツ」の発刊
- 車両の管理 など

	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容		
				自治体関与の妥当性	✓ 1	妥当である					妥当でない
	妥 当 性		Α	目的の妥当性	✓ 1	妥当である					妥当でない
				対象の妥当性	✓ 1	妥当である	5 🗆 2				妥当でない
				目標達成度	<u> </u>	高い	√ 2			□ 3	低い・未実施
	有 効 性		В	類似事業の有無	√ 1	なし	□ 2		あり	□ 3	あり
				上位施策への貢献度	1	高い	√ 2			□ 3	低い
6				コスト効率	1	高い	√ 2	2 普通		□ 3	低い
評	効 率 性		В	実施主体の適正化		適正である	3 <u> </u>	2 改善の余地	あり	□ 3	適正でない
価				負担割合の適正化		適正である	o □ 2	2 改善の余地	あり	□ 3	適正でない
	1 次評価		В	事業の進め方・内容	家につい	て改善の	2次評価	不要			
	(課長総括)			余地あり			乙次許恤	小安			
	※~証 中	灰24平及に来		は、中でとさとハハース	ノノノン	の計画	評				
			、スポーツに	:関する施策を進めて	しいく必	安かめ	価				
	カガラ カラ		ヘナフにゅっ		+ + •	→ _10					
	針び品ま			はポーツ主事の配置は			結				
	方針で 会が今果 し今	興に大いに頁	献するもので	:あり、継続する必要	異かある。	>	果				
	,										

事務事業	き 名	スポーツ推進委員事業	担	課 名	生涯学習・スポーツ課
予算事業	き 名	スポーツ推進委員事業	部	係 名	スポーツ係
事業区	分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1046
事業期	間	開始年度 昭和36年 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
五 五 総 目標	名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	10 教育費
合 政 策	名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興	科	項	6 保健体育費
計施策	名	34 生涯スポーツ・レクリエーションの振興	目	目	1 保健体育総務費
画 基本事	業名	34-1 生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市目	民協働の状況	協働している

市町村におけるスポーツ振興のため、スポーツ推進委員を配置し、住民に対しスポーツの実技の指導や助言を行うと ともに、スポーツ推進委員を対象に指導技術の向上のための研修を行っている。 事業概要 対 象 市民、スポーツ推進委員 段 ・スポーツ推進委員協議会及び同四部会の開催 ・特別研修会の開催 ・全国及び地区研修会への派遣 ・スポーツ行事及び事業の開催、協力 (活動指標) 市民がよりスポーツに親しみ、取り組むようにする。 (成果指標)

	指標名		24			25年度		26年度
	11 保 石	単位	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	人	150	211	160	166	103.8%	170
3	^動 ② 市主催のスポーツ行事協力依頼数	□	5	6	5	5	100.0%	5
指	標③							
倧	成 ① 週に1日以上スポーツをする市民の割合	%	35. 0	26. 7	40. 0	33. 2	83.0%	45. 0
	指②							
	標 ③							

	F /\	光子	24年	三度		25年度		26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	188, 000	187, 306	188, 000	186, 896	-0. 2%	204, 000
	支 ②委託料	円	210, 000	210, 000	210, 000	210, 000	0.0%	210, 000
	出③工事請負費	円						
	内 ④負担金補助及び交付金	円	178, 000	178, 000	252, 000	252, 000	41.6%	178, 000
4	訳 ⑤その他	円	1, 835, 000	1, 814, 540	1, 639, 000	1, 632, 100	-10. 1%	1, 716, 000
=	支出合計(A)	巴	2, 411, 000	2, 389, 846	2, 289, 000	2, 280, 996	-4.6%	2, 308, 000
ス	①国庫支出金	円						
I.	財 ②県支出金	巴						
	源 ③地方債	巴						
	内 ④その他(使用料、雑入等)	巴						
TIX	訳 ⑤一般財源	巴	2, 411, 000	2, 389, 846	2, 289, 000	2, 280, 996	-4.6%	2, 308, 000
	収入合計	巴	2, 411, 000	2, 389, 846	2, 289, 000	2, 280, 996	-4.6%	2, 308, 000
	人①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	件②年間所要時間	時間	200	200	200	200	0.0%	200
	費 ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	840, 000	840, 000	840, 000	840, 000	0.0%	840, 000
	総 費 用 (A+B)	円	3, 251, 000	3, 229, 846	3, 129, 000	3, 120, 996	-3.4%	3, 148, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

- 5 ・スポーツ推進委員協議会及び同四部会の開催、スポーツ行事企画会議の開催(年10回以上)
- 取
- 組
- ・うおづスポレク祭、ユニホック交流大会の開催・市及び体育協会主催行事協力
- ・ニュースポーツ出前講習の開催

	評価の視点	■ H24評価	H25評価	評価項目				内	容		
				自治体関与の妥当性	✓ 1	妥当であ	る 🗌	2 検討の余均	也あり	□ 3	妥当でない
	妥 当 性	E	Α	目的の妥当性	√ 1	妥当であ		2 検討の余均		□ 3	妥当でない
				対象の妥当性	√ 1	妥当であ	_	2 検討の余均		□ 3	妥当でない
				目標達成度	1	高い	✓	2 目標どおり		□ 3	低い・未実施
	有 効 性	Ė	Α	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余地	也あり	□ 3	あり
				上位施策への貢献度	√ 1	高い		2 普通		□ 3	低い
6				コスト効率	✓ 1	高い		2 普通		□ 3	低い
評	効 率 性	E	Α	実施主体の適正化	✓ 1	適正であ		2 改善の余均		□ 3	適正でない
価				負担割合の適正化	✓ 1	適正であ	る 🗆	2 改善の余均	也あり	□ 3	適正でない
	1 次評価		Α	計画どおり事業を実	€施する	ことが適	2 次評価	不要			
	(課長総括)		^	当			2 1/11	山 1.安			
	後課評	- ュースポーツ	一 宝坊歩道	- スポーツに関する打	5道 助士	にレ ど‡	評				
	の顕価			-ディネーターとして			価				
				アイボース こして			結				
	針び里、井	この 見在の体制を維			ے تھ رہی ے	C 78-55	果				
	今个	·····································	11.1 / 02.45/3	υ, υ ο ο			<i>↑</i> \				

		~ 		
事務事業名 スポー	-ツ関係表彰事業	担	課名	生涯学習・スポーツ課
	スポーツ奨励事業	当部	係 名	スポーツ係
事業区分自治事	孫	署	電話番号	0765-23-1046
事業区分自治事 事業期間開始 事業期間開始 機能日標名基本目合政策名 11 豊	年度 昭和53年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
電総 目標名 基本目	目標4 人と文化を育むまち	算	款	10. 教育費
	とかな心を育む文化とスポーツの振興	科	項	6. 保健体育費
計 施 策 名 34 生	三涯スポーツ・レクリエーションの振興	目	目	1. 保健体育総務費
画 基本事業名 34-2	選手・指導者の育成と支援	市国	民協働の状況	協働になじまない
スポーツ	競はにおいて傷禾な成績を巻げるなど 角津市のスポーツ	u M in	トト作用に関	して特に功績が顕著な選手 団

事業概要 スポーツ競技において優秀な成績を挙げるなど、魚津市のスポーツの向上と振興に関して特に功績が顕著な選手、団体及び指導者を表彰する。 対象 魚津市のスポーツの向上と振興に関して特に功績が顕著な選手、団体及び指導者。 手段 (活動指標) ①関係団体への表彰候補者の推薦依頼、②表彰候補者選考会議の開催、③表彰者の決定、④表彰 意 図 (成果指標) 該当する指導者、団体、選手に表彰を行う。

	指標名		24年	F度		25年度		26年度
		単位	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	适 ① 表彰候補者選考会議の回数	口	2	2	2	2	100.0%	2
3	動 ②							
指揮	標 ③							
憬	成 ① 表彰式の開催回数	口	2	2	2	1	50.0%	2
	果							
	標 ③							

		区 分	単位	24年			25年度		26年度
			中亚	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円	42, 000	36, 750	42, 000	2, 898	−92. 1 %	38, 000
		②委託料	円						
	出	③工事請負費	円						
	内	④負担金補助及び交付金	円						
4	訳	⑤その他	円	255, 000	229, 210	255, 000		-100.0%	249, 000
=		支出合計 (A)	円	297, 000	265, 960	297, 000	2, 898	-98. 9%	287, 000
ス		①国庫支出金	円						
,	財	②県支出金	円						
棲	源	③地方債	円						
報	内	④その他(使用料、雑入等)	円	282, 000	196, 519	165, 000		-100.0%	124, 000
TIX	訳	⑤一般財源	円	15, 000	69, 441	132, 000	2, 898	-95.8%	163, 000
		収入合計	円	297, 000	265, 960	297, 000	2, 898	-98. 9%	287, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	件	②年間所要時間	時間	100	100	100	100	0.0%	100
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	420, 000	420, 000	420, 000	420, 000	0.0%	420, 000
	総	費 用 (A+B)	円	717, 000	685, 960	717, 000	422, 898	-38.3%	707, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5

組 ①関係団体への表彰候補者の推薦依頼、②表彰候補者選考会議の開催(平成25年度の魚津市桑山スポーツ賞は表彰候補者がいなかっ 内 たため以後の事務は行わなかった。)、③表彰者の決定、④表彰(優良スポーツ指導者、クラブ表彰は1団体、1個人を表彰) 容

□ 3 妥当でない
□ 3 妥当でない
□ 3 妥当でない
☑ 3 低い・未実施
□ 3 あり
□ 3 低い
□ 3 低い
□ 3 適正でない
□ 3 適正でない

事務事業名 市民スポーツ奨励事業	担	課名	生涯学習・スポーツ課
予 算 事 業 名 市民スポーツ奨励事業	当部	係 名	スポーツ係
事業区分自治事務	署	電話番号	0765-23-1046
事業期間 開始年度 不明 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
☆ 総 目 標 名 基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	10. 教育費
合 政 策 名 11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興	科	項	6. 保健体育費
計 施 策 名 34 生涯スポーツ・レクリエーションの振興	目	目	1. 保健体育総務費
画 基本事業名 34-1 生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市目	民協働の状況	協働になじまない

生涯スポーツを推進する事業(うおづスポーツレクリエーション事業の実施、スポーツボランティアの募集、チャレ ンジデーの開催など)の実施、市民が参加する大会や高いレベルの競技大会の開催に対する補助金交付 事業概要 事 対 象 スポーツを愛好する市民 〇うおづスポーツレクリエーション事業の実施 Oスポーツボランティアの募集 Oチャレンジデーの開催 O市民スポーツ大会・教室の開催に対する補助 O市内外からの選手、チームが参加する全国規模的な大会開催への補助 手 段 (活動指標) 定期的にスポーツ活動を実践する市民を増やす (成果指標)

	指標名		24年			25年度		26年度
	1月 保 石	単位	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
Ŷ	① 補助大会・教室数	口	25	25	25	25	100.0%	26
3	2							
指	· · · ·							
,	☆ ① 週に1回以上スポーツをする人の割合	%	35. 0%	26. 7%	40.0%	33. 2%	83.0%	40
	£ 2							
	三 3							

		区 分	単位	24年	F度		25年度		26年度
			中江	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円			35, 000	2, 000		57, 000
		②委託料	巴	50, 000	50, 000	300, 000	300, 000	500.0%	300, 000
	出	③工事請負費	円						
	内	④負担金補助及び交付金	円	1, 916, 000	1, 916, 000	1, 200, 000	1, 150, 000	-40.0%	1, 720, 000
4	訳	⑤その他	円	15, 000	5, 943	21, 000	0	-100.0%	19, 000
=		支出合計 (A)	円	1, 981, 000	1, 971, 943	1, 556, 000	1, 452, 000	-26. 4%	2, 096, 000
ス		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
椿	源	③地方債	円						
情報	内	④その他 (使用料、雑入等)	円						
TIA		⑤一般財源	円	1, 981, 000	1, 971, 943	1, 556, 000	1, 452, 000	-26. 4%	2, 096, 000
		収入合計	円	1, 981, 000	1, 971, 943	1, 556, 000	1, 452, 000	-26. 4%	2, 096, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	件	②年間所要時間	時間	200	200	300	300	50.0%	200
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	840, 000	840, 000	1, 260, 000	1, 260, 000	50.0%	840, 000
	総	費 用 (A+B)	円	2, 821, 000	2, 811, 943	2, 816, 000	2, 712, 000	-3.6%	2, 936, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

〇取組内容 5

・市民スポーツ大会の開催(25大会) ・市民スポーツ教室の開催 ・うおづスポーツレクリエーション事業の開催 ・スポーツボランティアの募集 ・チャレンジデーの開催 ・井原市との野球親善交流事業 取

〇改善内容

組

- 「チャレンジデー事業」を当事業に組み込んだ。
- スポーツボランティアの募集を行った。

		H24評価	H25評価	評価項目				内	容		
	評価の視点	口74計1回		10.1 10.1 10.1 10.1				1.7	_		
				自治体関与の妥当性	✓ 1	妥当である	ნ ∐	2 検討の余均	也あり	□ 3	妥当でない
	妥 当 性			目的の妥当性	√ 1	妥当である		2 検討の余均		□ 3	妥当でない
				対象の妥当性	√ 1	妥当である	る 🗆	2 検討の余均		□ 3	妥当でない
				目標達成度	<u> </u>	高い	✓	2 目標どおり		□ 3	低い・未実施
	有 効 性		Α	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余均	也あり	□ 3	あり
				上位施策への貢献度	√ 1	高い		2 普通		□ 3	低い
6				コスト効率	√ 1	高い		2 普通		□ 3	低い
評	効 率 性		В	実施主体の適正化	□ 1	適正である	ნ	2 改善の余均	也あり	□ 3	適正でない
価				負担割合の適正化	√ 1	適正である	る 🗆	2 改善の余均	也あり	□ 3	適正でない
	1 次評価		Α	計画どおり事業を実	€施する	ことが適	2 次評信	一 不要			
	(課長総括)			当			乙 伙計1	川			
	後二証			_			評				
	後の方針)	種スポーツ大	会や教室を支	援することは、市民	えスポー	ツの振興					
	方題1四 第	として有効で	あるが さら	に多くの市民がスプ	ピーツ活	動に参加	価				
	針な結ず	こしてロがて	る必要がある		. / /	201 - D 11H	結				
	ご	るようエスり	る必安かめる) ₀			果				
	今八						710				

	事務事業名	学校体育施設開放事業	担业	課 名	生涯学習・スポーツ課
_	予算事業名	学校体育施設開放事業	当部	係 名	スポーツ係
1基本項	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1046
基本	事 業 期 間	開始年度 昭和50年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平項	総目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
自	台 以 界 名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興	科	項	保健体育費
	計 施 策 名	34 生涯スポーツ・レクリエーションの振興	目	目	保健体育総務費
	画 基本事業名	34-1 生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市目	民協働の状況	協働している

2 東	事業概要	最も身近なスポーツ施設である学校体育施設(23施設)を、スポーツ利用のため夜間開放する。
学	対 象	市民、施設
概要	手 段 (活動指標)	管理指導員の任命と活用する施設の修繕等により、より多くの開放が行えるようにする。
	意 図 (成果指標)	多くの住民が、スポーツやレクリエーションに取り組めるようになる。

	指標名		指 煙 夕		単位	24年			25年度		26年度
			尔	4日	中世	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 開放日数			日	3, 400	3, 152	3, 200	2, 934	91. 7%	3, 200
3	動指	2									
指揮	標	3									
憬	成田	① 利用者数			人	57, 000	50, 505	51, 000	44, 071	86. 4%	51, 000
	果指	2									
	標	3									

		苏什	24年	三度		25年度		26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	1, 907, 000	1, 217, 066	2, 307, 000	1, 483, 807	21. 9%	2, 156, 000
支	②委託料	円						
出		円						
Þ	④負担金補助及び交付金	円						
4 🕏		円						
\exists	支出合計(A)	円	1, 907, 000	1, 217, 066	2, 307, 000	1, 483, 807	21. 9%	2, 156, 000
ス	①国庫支出金	円						
人具	2県支出金	円						
唐	③地方債	円						
	到 ④その他(使用料、雑入等)	円	350, 000	284, 900	230, 000	195, 500	-31.4%	200, 000
計	③一般財源	円	1, 557, 000	932, 166	2, 077, 000	1, 288, 307	38. 2%	1, 956, 000
	収入合計	円	1, 907, 000	1, 217, 066	2, 307, 000	1, 483, 807	21. 9%	2, 156, 000
1	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
华		時間	100	100	100	100	0.0%	100
費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	420, 000	420, 000	420, 000	420, 000	0.0%	420, 000
総	費 用 (A+B)	円	2, 327, 000	1, 637, 066	2, 727, 000	1, 903, 807	16.3%	2, 576, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5 取 (1)管理指導員の任命:①地区体育振興会、体育協会へ管理指導員の推薦を依頼、②推薦により任命:任命状交付 (2)開放状況の把握:①報告書提出依頼(各施設の主任管理指導員)、②報告の取りまとめ 容 (3)施設の維持管理及び各種連絡調整

			_								
	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容		
				自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であり	გ 🗆	2 検討の余地	はあり	□ 3	妥当でない
	妥 当 性		Α	目的の妥当性	√ 1	妥当であっ	ნ □	2 検討の余地		□ 3	妥当でない
				対象の妥当性	√ 1	妥当であっ	ნ <u></u>	2 検討の余地	りあり	□ 3	妥当でない
				目標達成度	<u> </u>	高い	✓	2 目標どおり		□ 3	低い・未実施
	有 効 性		Α	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余地	りあり	□ 3	あり
				上位施策への貢献度	√ 1	高い		2 普通		□ 3	低い
6				コスト効率	√ 1	高い		2 普通		□ 3	低い
評	効 率 性		Α	実施主体の適正化	√ 1	適正であん	ნ □	2 改善の余地	りあり	□ 3	適正でない
価				負担割合の適正化	√ 1	適正であん	ა □	2 改善の余地	ウあり	□ 3	適正でない
	1 次評価		^	計画どおり事業を身	€施する	ことが適	2次評値	不要			
	(課長総括)		Α	当			乙伙計	小女			
	後課	•		<u>-</u>			評				
	の無価地	 - - +\ → フ フ	→ いエ軒の	\ hn 上 し <i>t</i> >フ 目 + 白 Y	C+\/+ 本·	₩₹₩₩	価				
	// 77 / 1	以に わり る人	ハーフ活動の)拠点となる最も身辺	エは14月	他設での					
	かみ 会話 り	、今後も利用	を推進する必	労労かめる。			結				
	が かが果						果				
	7										

	事務事業名	市民体育大会・県民体育大会事業	担	課 名	生涯学習・スポーツ課
_	予算事業名	市民体育大会・県民体育大会事業	当部	係 名	スポーツ係
1	事業区分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1046
本	事業期間	開始年度 昭和27年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平項	総目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	10. 教育費
目	合 政 策 名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興	科	項	6. 保健体育費
	計 施 策 名	34 生涯スポーツ・レクリエーションの振興	目	I	1. 保健体育総務費
	画 基本事業名	34-2 選手・指導者の育成と支援	市月	民協働の状況	協働している

〇市民体育大会の開催:市民にスポーツを普及・振興し、心身の健康並びに体力の増進及び競技力の向上を図り、明 るく豊かな生活の推進に寄与することを目的として開催する。 事業概要 〇県民体育大会に参加する選手への選手派遣事務を行う。 事 対 象 スポーツを愛好する市民 手 段 〇市民体育大会の開催 ○県民体育大会・冬季市民体育大会参加選手の派遣業務 (活動指標) ア. 練習成果を発揮する場を提供することで、生涯スポーツの振興を図る。 イ. 県民体育大会に参加する選手に対する交通費等の補助をすることで、競技意欲、及び競技レベルの向上を図る (成果指標)

	指標名		指標名 単位 24年度					26年度	
		11 保 名	毕业	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 市民体育大会の参加者数	人	4, 500	4, 500	4, 500	4, 500	100.0%	4, 500
3	期 指	② 県民体育大会(2部・3部)の参加者数(延べ人数)	人	770	773	800	941	117. 6%	900
頂	標	3							
磦	成田	① 県民体育大会(2部)の順位(一般)	位	5	9	5	12	240.0%	5
	果指	② 県民体育大会(2部)の順位(中学)	位	6	12	8	9	112. 5%	7
	標	③ 週1回以上スポーツをする市民の割合	%	35	27	40	33	83.0%	40

	区 分	単位	24年			25年度		26年度
		平位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円						
	支 ②委託料	円	2, 500, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	0.0%	2, 500, 000
	出 ③工事請負費	円						
	内④負担金補助及び交付金	円						
1	訳 ⑤その他	円						
ュ	支出合計(A)	円	2, 500, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	0.0%	2, 500, 000
ス	①国庫支出金	円						
î	財 ②県支出金	円						
梅	源 ③地方債	円						
報	内④その他(使用料、雑入等)	円						
TIX	訳 ⑤一般財源	円	2, 500, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	0.0%	2, 500, 000
	収入合計	円	2, 500, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	0.0%	2, 500, 000
	人 ①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	2	100.0%	2
	件 ②年間所要時間	時間	100	100	100	500	400.0%	500
	費 ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	420, 000	420, 000	420, 000	2, 100, 000	400.0%	2, 100, 000
	総 費 用 (A+B)	円	2, 920, 000	2, 920, 000	2, 920, 000	4, 600, 000	57. 5%	4, 600, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

和 ○市民体育大会の開催(21種目):市民体育大会各競技の開催準備及び総合開会式式典運営を魚津市体育協会に委託 内 ○県民体育大会への選手派遣(941人):県体育協会への出場申込み事務、選手派遣の交通補助の事務を魚津市体育協 容 〇県民体育大会への選手派遣(941人):県体育協会への出場申込み事務、選手派遣の交通補助の事務を魚津市体育協会に委託

					_									
	評価の視	点	H24評価	H25評価	評価項目					内 名	茎			
	妥 当	性		Α	自治体関与の妥当性 目的の妥当性 対象の妥当性	✓ 1 ✓ 1 ✓ 1	<u>妥当であ</u> <u>妥当であ</u> 妥当であ	<u>る</u> 🗀	2 検	討の余地 討の余地 討の余地	あり	<u> </u>	妥当でない妥当でない妥当でない	
	有 効	性		В	目標達成度 類似事業の有無 上位施策への貢献度	1 1 1	高い なし 高い		2 2 検 2 普	標どおり 討の余地 通		✓ 3	低い・未実 あり 低い	
6 評価	効 率	性		В	コスト効率 実施主体の適正化 負担割合の適正化	☐ 1 ☑ 1 ☑ 1	高い 適正であ 適正であ		2 改	通 善の余地 善の余地		□ 3	低い 適正でない 適正でない	
	1 次評化 (課長総括			В	事業の進め方・内容 余地あり	引につい.	て改善の	2次評化	西	不要				
	後の方針) 深価結果	多かかか	くの市民がス ために、市民	ポーツに親し 体育大会は大	- み、生きがい、健康 きな役割を果たして	東づくり こいる。	に取り組	評価結果						

	事務事業名	登山振興事業	担火	課 名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	登山振興事業	当部	係 名	スポーツ係
1	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1046
基本	事業期間	開始年度 昭和62年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平項	# 業 期 間 総 目 標 名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	10. 教育費
Î	合 政 策 名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興	科	項	6. 保健体育費
	計 施 策 名	34 生涯スポーツ・レクリエーションの振興	目	目	1. 保健体育総務費
	画 基本事業名	34-1 生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市目	民協働の状況	協働している

2事	事業概要	①魚津市を代表する山「僧ヶ岳」の一般登山道(東又ルート)を維持する。 ア. 登山道整備:安全柵の確認、新設、潅木、雑草の刈払い、幅員の確保、伊折山休憩所の整備 イ. 市民登山会の実施 ②僧ヶ岳・毛勝山等の登山者のため、片貝山荘の維持管理を行う。 ア. 浄化槽の点検・清掃 イ. 山荘内の掃除 ③片貝山荘の利用許可に係る事務手続きを行う
業	対 象	片貝山荘を利用する登山者、僧ヶ岳の登山者
概要	手 段 (活動指標)	①僧ヶ岳登山道の整備:魚津山岳協会へ委託、②片貝山荘の維持管理:シルバー人材センター、魚津清掃公社へ委託、③片貝山荘の利用について県外からの利用者に対して市ホームページで周知
	意 図 (成果指標)	ア. 登山道の整備による安全な登山環境の確立 イ. 片貝山荘の整備・維持管理による登山者の利便性の充実

指標名	単位	24年	F 度		25年度		26年度
1日 徐 名	中亚	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
适 ① 登山道の整備回数		2	2	2	2	100.0%	2
3 指② 片貝山荘の利用許可数	件	40	42	40	28	70.0%	40
[標 3							
□ □ 片貝山荘利用者数	人	160	160	170	109	64. 1%	160
果 指 ②							
標 ③							

	区 分	単位	24年	F度		25年度		26年度
		中江	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	107, 000	7, 000	107, 000	6, 542	-6. 5%	100, 000
	支 ②委託料	円	219, 000	209, 490	219, 000	209, 490	0.0%	220, 000
	出③工事請負費	円						
	内 ④負担金補助及び交付金	円						
4	訳 ⑤その他	円	6, 000	6, 000	6, 000	6, 000	0.0%	6, 000
\pm	支出合計 (A)	円	332, 000	222, 490	332, 000	222, 032	-0. 2%	326, 000
ス	①国庫支出金	円						
L L	才 ②県支出金	円			268, 000	222, 032		268, 000
	原 ③地方債	円						
3447	内 ④その他(使用料、雑入等)	円	10, 000	10, 362	10, 000		-100.0%	10, 000
T^	訳 ⑤一般財源	円	322, 000	212, 128	54, 000		-100.0%	48, 000
	収入合計	円	332, 000	222, 490	332, 000	222, 032	-0. 2%	326, 000
	人①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
1	4 ②年間所要時間	時間	40	40	40	100	150.0%	100
3	費 ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	168, 000	168, 000	168, 000	420, 000	150.0%	420, 000
ń	※ 費 用 (A+B)	円	500, 000	390, 490	500, 000	642, 032	64. 4%	746, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5 ○取組内容 組 ・僧ヶ岳登山道の整備委託 ・片貝山荘の維持管理委託 ・片貝山荘の利用許可事務 内 〇改善内容 ・市として防災用に備蓄している飲料水の内、賞味期限が切れたものを生活用水として片質 〇改善内容 ・市として防災用に備蓄している飲料水の内、賞味期限が切れたものを生活用水として片貝山荘に設置するようになった。

	評価の	の被	息点	H24評価	H25評価	評価項目					内	容		
						自治体関与の妥当性	<u> </u>	妥当であ	ა ⊡	2	検討の余地	はあり	□ 3	妥当でない
	妥	当	性		В	目的の妥当性	√ 1	妥当であ		2	検討の余地		□ 3	妥当でない
						対象の妥当性	<u> </u>	妥当であ	ა ⊡	2			□ 3	妥当でない
						目標達成度	□ 1	高い		2	目標どおり		 3	低い・未実施
	有 3	効	性		В	類似事業の有無	√ 1	なし		2	検討の余地	はあり	□ 3	あり
						上位施策への貢献度	<u> </u>	高い	✓	2			□ 3	低い
6						コスト効率	□ 1	高い		2			□ 3	低い
評	効 -	率	性		В	実施主体の適正化	√ 1	適正であ		2	改善の余地		□ 3	適正でない
価						負担割合の適正化	√ 1	適正であ	る 🛚	2	改善の余地	はあり	□ 3	適正でない
	1 次				В	事業の進め方・内容	家について	て改善の	2次評	ATT.	不要			
	(課長	総技	舌)		ם	余地あり			2 1/11	ІЩ	竹安			
	後 🕋	亚		•		_			評					
	後課の題	価	l 🖽 i	月山井にけ退	. 外からの利田	者も多数あることが	N	-	価					
	の方針	結		していく必要		16 0 2 30 0 0 C C 2	, -5 C 31 C	己机己亚	結					
	針び今	里	νm	C C C C 20 5	، ره، رين · رين :				果					
	今	Λ.							★					

	;	補助金			平成	25年度実統	責に関	関する事務	8事業	評価	表			
	事	務事:	業 名 魚津し	しんきろうマラ	ラソン語	事業				旦書	. 名	生涯等	学習・スポ	ーツ課
	子			きろうマラソン						自 枢		スポ-		
1	事												23-1046	
基	-			年度 昭和56	6年度	終了年月	€ 当	百継続	=					
本項目	4/2	目標	名 基本目			舌力あるまち	~	ш т <u>т</u> 196		, –	款	10. 教		
項	総合	政策		で流と連携によ						斗	項		『異 建体育費	
Ħ	計	施策		る様な交流の推		_ 170 A1M				i 🗀			建体育総務	
	画	基本事				ンベンション	の話を	lt .			場働の状況		している	Ŗ
		坐平于	来有 10 2	コ・・フェー州	IE 、 ¬	J-12732	ひノロガス	*		III IX III	7 (B) V 2 (A) (A) (A)	加到	J (V . W	
2 事	李	事業 概 !	メンへの	きろうマラソ魚津市選手団	派遣((随行)	助金0	の交付、実行	委員会/	∖の参	画、大会の	準備及	び当日の選	営、井原マラ
事業概要	手		シャーター 会	·加する人数を										
X	意		図 ア. 定期	 的にスポーツ の参加者の増		市民の増加								
			lie im to		N/ /II	2.	4年度				25年度			26年度
			指標 名		単位	計画		実績	計	画	実	積	達成率	計画
	活	① 大会参	ទ 加者数		人	5, 000)	5, 883		5, 000)	5, 370	107. 4%	5, 500
3	動指	2												
3 指 標	指標	3												
保	成果		汄上スポーツをす		%	35		27		4(33	83.0%	40
	指		県外の参加	者数	人	3, 500)	4, 399		3, 700)	3, 993	107. 9%	4, 100
	標	3												
					334 /-La	2	4年度				25年度			26年度
			区 分		単位	予算現額		決算額	予算	現額	決算	額	決算増減率	当初予算額
		①需用費			円									
		②委託料			円									
		③工事請		I. A	円	F 000 000		F 000 000	0.5	00 00	2 0 50	0 000	00.00/	0 500 000
		④ 負担金⑤ その他	補助及び交付	丁金	円円	5, 000, 000	,	5, 000, 000	3, 5	00, 000	3,50	0, 000	-30.0%	3, 500, 000 103, 000
4	武	支出合計			円	5, 000, 000	1	5, 000, 000	3 5	00. 000	3 50	0, 000	-30.0%	3. 603. 000
コ		①国庫支			円	3, 000, 000		3, 000, 000	0, 0	00, 000	3, 30	0, 000	30.0/0	3, 003, 000
ス	財	②県支出			円									
情		③地方債			円									
報			(使用料、剂	能入等)	円	400, 000		400, 000					-100.0%	150, 000
+1X	汃	⑤一般財			円	4, 600, 000		4, 600, 000	-,-	00, 000	-,	0, 000	-23. 9%	3, 453, 000
		収入合計			円	5, 000, 000	_	5, 000, 000	3, 5	00, 000	,	0, 000	-30.0%	3, 603, 000
			業に携わる』	E規職員数	人	_	2	2			2	2	0.0%	2
		②年間所			時間	600)	600		600		600	0.0%	600
	費	③人件費	(2)×@ 4,2	200 円) (B)	円	2, 520, 000		2, 520, 000	2, 5	20, 000	2, 52	0,000	0.0%	2, 520, 000
	総	費用	(A+B)		円	7, 520, 000)	7, 520, 000	6, 0	20, 000	6, 02	0,000	-19.9%	6, 123, 000
	<u> </u>	平成25年	まに取り組ん	だ事務事業の	内容及	び改善内容								
5 取							<i>4</i> - - - 5	3A. 65T	4 ^ 4	\# /#·	T- 1 C W - T - C	ve #	ч Б — = ·	ンへの魚津市
組内容	選=	手団派遣	(随行)			て、参加の可								
	評	価の視点	H24評価	H25評価		平価項目		1 50-1	7 -	0 IA	<u>内容</u>	. []		V=+1:
	TV.	717 141-		^		関与の妥当性	<u> </u>				討の余地を			当でない
	妥	当 性		Α)妥当性)妥当性	✓ ✓	1 妥当であ _. 1 妥当であ _.			討の余地を 討の余地を			当でない 当でない
					月標達			<u>1 安ヨじめ</u> 1 高い	<u>ଚ</u>		標どおり	, ,		<u> </u>
	有	効 性		Α		業の有無			<u>\</u>		計の余地を	5 1)	□ 3 あ ¹	
	13	- //4 		.		策への貢献度		<u>1 あい</u> 1 高い		2 普	通		□ 3 低に	,\
6					コスト	、効率		1 高い		2 普	通		3 低U	,1
⇒ ⊤:	杰	家 性	ı		12+1->	:休の適正化		1 滴正であ.	7		・盖の全地は	- 11	_ ^ ' \	Fでたい

	評価の視点	₹ H24評価	H25評価	評価項目					内	容			
				自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であん	る 🗌	2	検討の余地	あり	□ 3	妥当でな	よい
	妥 当 性	Ē	Α	目的の妥当性	√ 1	妥当であっ		2	検討の余地		□ 3	妥当でな	
				対象の妥当性	√	妥当であっ	る 🗌	2	検討の余地		□ 3	妥当でな	
				目標達成度	1	高い	>	2	目標どおり		□ 3	低い・き	ト実施 しんしん
	有 効 性	:	Α	類似事業の有無	√ 1	なし		2	検討の余地	あり	□ 3	あり	
				上位施策への貢献度	√ 1	高い		2	普通		□ 3		
6				コスト効率	✓ 1	高い		2	普通		□ 3	低い	
評	効 率 性	:	Α	実施主体の適正化	✓ 1	適正であん		2	改善の余地		□ 3	適正でな	
価				負担割合の適正化	✓ 1	適正であり	る 🗆	2	改善の余地	あり	□ 3	適正でな	よい
	1 次評価		Α	現行どおり補助する	スニレが	演当	2次評	価	不要				
	(課長総括)			2011 C 02 7 Im 2019 7 10	y = = 13°.		2 (八百)	ІЩ	11.2				
	後課評			_			評						
	の舞価角	津市に完美し	たーナスポー	-ツイベントであり、	会後±.:	継続して	価						
	方及結 古	援する必要が		74 N 7 1 C 80 9 1	プタリ	小型 小児 し て	結						
	カ及結 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		٥ له. رين				果						
	(今末						术						

	補助金	平成	25年度実績1	こ関する事務	事業評価	表			
	事務事業名 全日本大学女子野球	選手権	主大会事業		担	課	名 生涯学	学習・スポ	ーツ課
	予 算 事 業 名 全日本大学女子野球	浅選手棒	主大会事業		当部	K.1.	名 スポー	- 1717	
1	事業区分 自治事務				署	電話番	号 0765-	23-1046	
本	事業期間開始年度昭和62		終了年度	当面継続	予	_	計 一般会		
基本項目	総 目 標 名 基本目標1 にぎれ		き力あるまち		算	款	10教育		
目	合 政 策 名 5 交流と連携によ		ぎわい創出		科	項		体育費	-
	計 施 策 名 10 多様な交流の推					目		体育総務署	
	画 基本事業名 10-2 イベント開	誘致	市	協働の状況	は 協働し	している			
2事業概	事業概要 無津市を代表するスポーツ 大会準備・運営にあたって 事業実施団体:全日本大学 ア・大会の企画(実施要項 対象市民、全国の大学の女	交付による支 営 エ. 広告							
業	対 家 市民、主国の人子の女	丁秋八	17以 7 一 厶						
概要	手 (活動指標) 大会実行委員会への補	助金の	交付、実行委員	会会議への参加	、大会運営	の補助			
	意 図 ア. スポーツを通じて (成果指標) イ. 全国大会の実施に			アップ					
	指標名	単位	24年			25年)			26年度
	111 1/2 1/2	·/-	⊒十 i中i	実績					
	迁 ① 坩肋 ◆ 奶	7 m	計画		計画		<u> </u>	達成率	計画
3	活 ① 補助金額	千円	2,800	2,800	計画 2, 3		<u> </u>	<u>達成率</u> 100.0%	2,300
3 指	動 <u></u>	千円	1.1.1.1		1.11		*****		
3 指標	動 ② 指 ③ 成 ① 観戦者数		1.1.1.1		1.11	00	*****		
3 指 標	動 ② 指 ③ 成 ① 観戦者数	千円 人 チーム	2, 800	2, 800	2, 3	00	2, 300	100.0%	2, 300
3 指標	動 ② 指 ③ 標 ③ 成 ① 観戦者数	人	2, 800	2, 800	2, 3	00	2, 300	100.0%	2, 300
3 指標	動 ② 指 ③ 成 ② 成 ② 1 観戦者数 程 ② 参加チーム数 標 ③	人チーム	2, 800	2, 800 2, 100 22	2, 3	00	2, 300 2, 100 22	100.0%	2, 300
3 指標	動 ② 指 ⑦ 成 ① 観戦者数 果 ② 参加チーム数 標 ③ 区 分	人 チーム 単位	2, 800 2, 100 22	2, 800 2, 100 22	2, 3	00 00 25 25年)	2, 300 2, 100 22	100.0%	2, 300 2, 000 25
3 指標	動 ② 指 ③ 成 ② 成 ② 1 観戦者数 程 ② 参加チーム数 標 ③	人チーム	2, 800 2, 100 22 24 ⁴	2, 800 2, 100 22 F度	2, (00 00 25 25年)	2, 300 2, 100 22 雙	100. 0% 105. 0% 88. 0%	2, 300 2, 000 25 26年度

		E A	苏什	24年	F.度		25年度		26年度
		区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円						
		②委託料	巴						
	出	③工事請負費	巴						
	内	④負担金補助及び交付金	巴	2, 800, 000	2, 800, 000	2, 300, 000	2, 300, 000	-17. 9%	2, 300, 000
4	訳	⑤その他	巴						
=		支出合計(A)	巴	2, 800, 000	2, 800, 000	2, 300, 000	2, 300, 000	-17. 9%	2, 300, 000
ス		①国庫支出金	巴						
ī		②県支出金	円						
棲	源	③地方債	円						
情報	内	④その他(使用料、雑入等)	円						
+IX		⑤一般財源	円	2, 800, 000	2, 800, 000	2, 300, 000	2, 300, 000	-17. 9%	2, 300, 000
		収入合計	円	2, 800, 000	2, 800, 000	2, 300, 000	2, 300, 000	-17. 9%	2, 300, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	件	②年間所要時間	時間	240	240	240	300	25. 0%	300
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 008, 000	1, 008, 000	1, 008, 000	1, 260, 000	25. 0%	1, 260, 000
	総	費 用 (A+B)	円	3, 808, 000	3, 808, 000	3, 308, 000	3, 560, 000	-6.5%	3, 560, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

取組内容

ア.大会の運営 イ.参加募集 ウ.大会準備、運営 エ.広告料の依頼、徴収 オ.大会及び魚津市のPR

	評価の	視点	H24評価	H25評価	評価項目					内	容				
					自治体関与の妥当性	✓ 1	妥当であ	る 🗌	2	検討の余地	しあり		妥:	当でな	い
	妥 当	性		Α	目的の妥当性	√	妥当であ			検討の余地		□ 3		当でな	
					対象の妥当性	1	妥当であ	る 🗌		検討の余地			妥:	当でな	い
					目標達成度	1	高い	✓		目標どおり					実施
	有 効	性		Α	類似事業の有無	√	なし			検討の余地	しあり		あ	IJ	
					上位施策への貢献度	1	高い			普通			低	い	
6					コスト効率	1	高い			普通			低	い	
評価	効 率	性		Α	実施主体の適正化	1	適正であ			改善の余地				正でな	
価					負担割合の適正化	1 >	適正であ	る 🗆	2	改善の余地	也あり		適.	正でな	い
	1 次計	平価		Λ	現行どおり補助する	こーレが	本	2次評位	(III	不要					
	(課長絲	総括)		Α	近11 このり補助する) <i>I</i> ' '	過日	乙伙計	ІЩ	个女					
	後二証	ž.						評							
	の課件	;	魚津市で開催	される唯一σ)全国規模のスポーツ	ノ大会で	あり、20	価							
	方 及 分	上 年	以上の歴史を	積み重ねてい	いることから、引き網	たき支援	する必要	結							
	針び四	が	ある。					窄							
	後の方針) (課題及び今	=						果							

	事	務事業	名	優秀選手強化育成・派遣事業	担火	課名	生涯学習・スポーツ課
_	予	算 事 業	名	選手強化育成事業・優秀選手派遣事業	当部	係 名	スポーツ係
1	事	業 区	分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1046
基本	事	業期	間	開始年度 平成4年度以前 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平項	総	目標:	名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	10. 教育費
目	合	政策	名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興	科	項	6. 保健体育費
	計	施策	名	34 生涯スポーツ・レクリエーションの振興	皿	Ш	1. 保健体育総務費
	画	基本事業	名	34-2 選手・指導者の育成と支援	市	民協働の状況	協働している

⑴ 選手強化育成事業:①優秀チームの招聘、県外遠征、指導者講習会に開催により小中学生を中心とするジュニア 期からの、競技力、指導資質の向上を図る。 ②県駅伝競走大会において、選手強化・選考、大会への選手派遣業務 事業概要 を行う。 (2) 優秀選手派遣事業:①国、県及び魚津市を代表してスポーツ大会に出場する選手等に対して、激励金を支給す 事 対 象 (1)選手強化育成事業:主に小中学生の競技スポーツ選手、(2)優秀選手派遣事業:全国大会および北信越大会等地域を代表として出場する競技スポーツの選手 手 段 (1)選手強化育成事業委託 魚津市体育協会、魚津市陸上競技協会に委託 (2)優秀選手派遣事業 広報等により市民に事業内容を周知し対象選手に申請をしてもらう。 (活動指標) ・競技スポーツ選手の技術、能力の向上。 ・優秀な成績を挙げ、全国大会等に出場する選手の増加。 (成果指標)

	指標名	単位	24年			25年度		26年度
	1日 1示 -7口	中位	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	① 激励金申請件数	件	250	245	250	204	81.6%	250
3	② 中体連スポーツ大会出場人数	人	300	292	310	336	108. 4%	
狟	標 ③							
倧	① 全国大会出場者数	人	150	149	160	175	109. 4%	170
	果							
	標 ③							

		区 分	単位	24年	F度		25年度		26年度
			中亚	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	田						
		②委託料	円	760, 000	760, 000	760, 000	760, 000	0.0%	1, 500, 000
	出	③工事請負費	円						
	内	④負担金補助及び交付金	円	1, 300, 000	1, 063, 590	1, 391, 000	995, 000	-6.4%	1, 507, 000
4	訳	⑤その他	円	1, 950, 000	1, 792, 000	1, 850, 000	1, 730, 000	-3.5%	1, 850, 000
=		支出合計 (A)	円	4, 010, 000	3, 615, 590	4, 001, 000	3, 485, 000	-3.6%	4, 857, 000
ス		①国庫支出金	円						
,		②県支出金	円						
棲	源	③地方債	円						
報		④その他(使用料、雑入等)	円	170, 000	0				
+12		⑤一般財源	円	3, 840, 000	3, 615, 590	4, 001, 000	3, 485, 000	-3.6%	4, 857, 000
		収入合計	円	4, 010, 000	3, 615, 590	4, 001, 000	3, 485, 000	-3.6%	4, 857, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	件	②年間所要時間	時間	280	280	280	200	-28.6%	200
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 176, 000	1, 176, 000	1, 176, 000	840, 000	-28.6%	840, 000
	総	費 用 (A+B)	円	5, 186, 000	4, 791, 590	5, 177, 000	4, 325, 000	-9.7%	5, 697, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5 (1)選手強化育成事業委託

①選手強化事業 魚津市体育協会へ委託 ②富山県駅伝競走大会選手強化事業 魚津市陸上競技協会へ委託

内 (2)優秀選手派遣事業

取 組

- ①市広報において代表として出場する場合に激励金の交付がある旨の記事を掲載 ②激励金交付申請を受け付け、内容確認後対象者へ案内、激励金を交付する。

	評価の	視点	H24評価	H25評価	評価項目					内	容			
					自治体関与の妥当性	1	妥当であ		2	検討の余地			妥当でない	
	妥 当	性		С	目的の妥当性	✓ 1	妥当であ		2	検討の余地			妥当でない	
					対象の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗆	2	検討の余地			妥当でない	
					目標達成度	1	高い	>	2	目標どおり			低い・未実施	包
	有 効	性		В	類似事業の有無	√	なし		2	検討の余地	はあり		あり	
					上位施策への貢献度	1	高い	>	2	普通			低い	
6					コスト効率	1	高い	✓	2	普通			低い	
評価	効 率	性		В	実施主体の適正化	☑ 1	適正であ		2	改善の余地			適正でない	
価					負担割合の適正化	√ 1	適正であ	る 🗆	2	改善の余地	はあり	3 :	適正でない	
	1 次評	通		В	事業の進め方・内容	家につい	て改善の	2次評	無	不要				
	(課長総	括)		Ь	余地あり			2 沃叶	ІЩ	1)女				
	後二証		•		=			評						
	後の方針)(課題及び今評価 結果				全国大会等への参加			価						
	方及纽)委託や専門的な指導	算者の派:	遣によ	結						
	針び甲	19.	、中学生の競	技力の向上を	:図る必要がある。			果						
	0 今米							术						

	ソフト事業	平成	25年度実績1	こ関する事務	S事業評価	ī表			
	事務事業名中学校部活動活性化	事業			担	課名	生涯	学習・スポ	ーツ課
	予 算 事 業 名 中学校部活動活性化	事業				係 名			
1	事 業 区 分 自治事務				部 -	電話番号	0765-	23-1046	
基本項目	事 業 期 間 開始年度 平成12	年頃	終了年度	当面継続		会 計	一般的	会計	
項	/bc/	化を削	育むまち		算	款	10教育	育費	
自	合 政 策 名 11 豊かな心を育む		ヒスポーツの振興		科	項		体育費	
			ノエーションの 扱	長興	I	I		体育総務	
	画 基本事業名 34-2 選手・指導	者の育	成と支援		市民	協働の状況	協働し	している	
2事業概要	事業概要 中学校において、スポージ者を派遣することにア・派遣要望の把握対 対象 運動部に所属する中学・手(活動指標) 意(成果指標) 競技力の向上	より競 イ. 派 生	括力の向上を図 :遣指導者の委嘱	る。 ウ. 謝金支払	工. 県補	助関係事務	申請、	実績報告)	を有する外部指
	指標名	単位	24年			25年度			26年度
	1,11	—	計画	実績	計画			達成率	計画
3	活 ① 派遣指導者数 動 ② 指導回数	<u>人</u> 回	12 360	12 360		12	12 360	100. 0% 100. 0%	12 360
3 指 標	指 ② 指導凹剱	ū	000	000	,	100	000	100.0/0	000
標		位	5	12		10	9	90.0%	8
	果								
	標 ③								
	区分	単位	24年	F度		25年度			26年度
	, ,	—	予算現額	決算額	予算現象	決算 決算	額	決算増減率	当初予算額
	①需用費 支 ②委託料	円田田							
	出③工事請負費	円円							

		区 分	単位	24年	F度		25年度		26年度
		区 分	中位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円						
		②委託料	巴						
	出	③工事請負費	巴						
	内	④負担金補助及び交付金	巴						
4	訳	⑤その他	巴	720, 000	720, 000	720, 000	672, 000	-6. 7%	720, 000
=		支出合計 (A)	巴	720, 000	720, 000	720, 000	672, 000	-6. 7%	720, 000
ス		①国庫支出金	巴						
i,		②県支出金	円	192, 000	192, 000	192, 000	180, 000	-6.3%	192, 000
棲	源	③地方債	円						
報		④その他 (使用料、雑入等)	円						
TIX		⑤一般財源	円	528, 000	528, 000	528, 000	492, 000	-6.8%	528, 000
		収入合計	円	720, 000	720, 000	720, 000	672, 000	-6. 7%	720, 000
	入	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	1	-50.0%	1
		②年間所要時間	時間	20	20	20	100	400.0%	100
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	84, 000	84, 000	84, 000	420, 000	400.0%	420, 000
	総	費 用 (A+B)	円	804, 000	804, 000	804, 000	1, 092, 000	35.8%	1, 140, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

ア.派遣要望の把握 イ.派遣指導者の委嘱 ウ.謝金支払 エ.県補助関係事務(申請、実績報告)

	評価の)視,	点	H24評価	H25評価	評価項目					内 容	ř.				
						自治体関与の妥当性	√ 1	妥当である	る 🗆	2	検討の余地	あり	□ 3	妥当	当でなし	1
	妥 当	当十	生		Α	目的の妥当性	√ 1	妥当である	る 🗆	2	検討の余地	あり	□ 3		当でなし	
						対象の妥当性	1	妥当である	る 🗆	2	検討の余地	あり	□ 3	妥当	当でなし	
						目標達成度	1	高い	~	2	目標どおり		□ 3	低し	ハ・未足	€施
	有 䓖	为 忄	生		Α	類似事業の有無	√ 1	なし		2	検討の余地	あり	<u> </u>	あり	J	
						上位施策への貢献度	√ 1	高い		2	普通		<u> </u>	低し	١,	
6						コスト効率	√ 1	高い		2	普通		□ 3	低し		
評価	効 幸		生		Α	実施主体の適正化	√ 1	適正である		2	改善の余地		□ 3		Eでなし	
価						負担割合の適正化	1	適正である	る 🗆	2	改善の余地	あり	□ 3	適エ	Eでなし	1
	1次	評価			^	計画どおり事業を実	€施する	ことが適	2次評位	/ π:	不要					
	(課長	総括))		Α	当			乙伙計	Щ	个女					
	後○司	亚		•		='			評							
	後の方針) (課題及び今	<u> </u>	本導	事業により専	門的な指導者	「を派遣するとともに	こ、選手	強化事業	価							
	方型 1	<u>"</u> (のす	委託や優秀選	手派遣事業に	よる助成により、中	中学生の	競技力の								
	針び前	卢	台间	上を図る必要	がある		. — …		結							
	- C S 昇	艮	-, _	L C E	,73 UJ 0				果							
	7															

	補助金]		平成	25年度実績	漬に	関する事務	事業	評価	表				
			-ツ少年団育原 -ツ少年団育原							課係		生涯学スポー	空習・スポ	ーツ課
1		クロップ 分 自治事		以爭未					一 (信				- フェス 23-1046	
基				上左右		rie ज	7 世 25 年 庄				計			
本項目			年度 昭和51			及 十	花成25年度		予	会		一般会		
項	総目標名				育むまち	C (F)			算			10教育		
目	合 政 策 名				ヒスポーツの		E11		科				体育費	b
	計 施 策 名				リエーション	か 振り	興		II.	L.L. bel	目 //· >=		体育総務費	
	画 基本事業名	34-2	選手・指導	者の育	成と支援				市民	協働	の状況	協働し	ている	
2事業概要		ポーツ少律を学ぶ 児童及び ホスポーツ	年団活動を活 ことや、多く 指導者(指導	性化さの児童者協議ポーツタ	がせ、児童の体証との交流を済 さとの交流を済 機会) 少年団指導者協	力で	を年団指導者協 がくり(スポー のこと)により、 への助成金の交付	ツに親、児童	しみはの健治	本力を全なら	を向上) る 成長を図る	と人間る。	づくり (団	団体活動での規
	指	標名		単位		24年	<u></u> 実績		<u>≇</u> 1.mi		25年度	3	達出家	26年度 計画
	活 ① 補助金、	助成全の	/ / 米/ _/	件	計画	4			計画	4		4	<u>達成率</u> 100.0%	回
3 指	動②	切り、並り	T 9X	IT			7			7		7	100.0/0	
標	標 ③	.l. /= 171 += 1			00	_	00.7		0.5			01.0	00.10/	
VAN	成 ① スポーツ	少年団ル	人举	%	39.	0	32. 7		35	5. 0		31. 2	89. 1%	
	鬼 ②													
	標 ③					ļ_								
	Б	区 分		単位		24年月			6464 I -		25年度			26年度
					予算現額		決算額	予:	算現額	Į	決算	額	決算増減率	当初予算額
	①需用費			円										
	支 ②委託料 出 ③工事請負費	患		円円										
	内 ④ 負担金補助		†金	円	940.00	0	940.000	1.	040. 0	000	1. 040	. 000	10.6%	
4	訳 ⑤その他	7,7,00 ,001	, 41.	円	0.10,00	-	0.10, 000	.,	,		.,	,	1010,0	
7	支出合計(A			円	940, 00	0	940, 000	1,	040, 0	000	1, 040	, 000	10.6%	0
ス	①国庫支出会	金		円										
下	財②県支出金			円		_								
情	源③地方債	+ m // #	6 7 k/r)	円田										
報	内 ④その他 訳 ⑤一般財源	史用科、 和	E八寺)	円円	940.00	^	940, 000	1	040.0	100	1, 040	000	10.6%	
	収入合計			円	940, 00		940, 000		040, 0		1, 040		10.6%	0
	人①事務事業は	と進わる正	1 相職昌数	人	340, 00	1	1	١,	040, 0	1	1, 040	1	0.0%	U
	件 ②年間所要		-/9L1HA 5-(5A	時間	2	0	20			20		100	400.0%	
	費③人件費(②	2) × @ 1 4	200 III) (P)		84.00		84, 000		84, 0		120	, 000	400.0%	0
	総費用(A	± D)	200 (1) (B)	円円	1, 024, 00		1, 024, 000	1	124, 0		1, 460		42.6%	0
					, ,	U	1, 024, 000	Ι,	124, (100	1, 400	, 000	42.0%	0
5	平成25年度に	取り組ん	だ事務事業の	内容及	び改善内容									
取組内容	市スポーツ少年 付、広報への団			指導者	協議会への助]成金	€の交付、市ス۶	ポーツ	'少年[団がヨ	実施する国	国内交流	流事業への)助成金の交
	評価の視点 F	H24評価	H25評価		评価項目					卢	图 容			
			,	自治体	関与の妥当性	~] 1 妥当である	3	_ 2		の 余地あ	IJ	□ 3 妥	当でない
	妥 当 性		Α)妥当性	^] 1 妥当である	5			の余地あ			当でない
)妥当性	~					<u>の余地あ</u>	り		当でない
	右 湖 州		В	目標道		<u> </u>] 1 高い				どおり	(.)		ハ・未実施
	有 効 性		В		事業の有無 策への貢献度	7				使訂 普通	の余地あ	ツ	□ 3 あ □ 3 低	
6				エ似地コスト		7			_ 2	_{百四} 普通			□ 3 低	
誣	効 率 性		Α		上体の適正化	\ \frac{1}{2}					の余地あ	IJ	□ 3 滴	デ 正でない
評価	,,,, I		, · ·		列合の適正化			3			の余地あ			正でない
	1次評価		Α		おり補助する			2次			要		· 	

評価結果

後の方針)

少年期からスポーツに取り組むことは重要であるが、スポーツ少年団員の減少が続いていることから、支援の対象や事業内容について検討する必要がある。

施設管理

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

	事務事業名	体育施設管理事務	担	課 名	生涯学習・スポーツ課
_	予算事業名	体育施設管理費	当部	係 名	スポーツ係
1	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1046
基本	事業期間	開始年度 昭和32年 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平項	総目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	10教育費
目	合 政 策 名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興	科	項	6保健体育費
	計 施 策 名	34 生涯スポーツ・レクリエーションの振興	目	目	2体育施設費
	画 基本事業名	34-1 生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市	民協働の状況	協働している

スポーツ施設の適正な維持管理、利用者サービスに努め、有効的な利用促進を図り、市民の健康増進及び誰もが気軽にスポーツ スポーツル欧の過止は飛行音な、1700日、 に親しめる環境を整える。 1.対象施設:天神山野球場、吉田グラウンド、総合体育館(温水プール、弓道場含む)、桃山運動公園 2.指定管理者制度による維持管理、運営 H18.4.1から: (財) 魚津市体育協会 事業概要 対 象 市民、管理施設(天神山野球場、吉田グラウンド、総合体育館(温水プール、弓道場含む)、桃山運動公園) 段 (公財) 魚津市体育協会を指定管理者とし指定管理料を支払い、管理運営を委託した。また、施設の修繕(規模が大き (活動指標) く金額で300千円以上)等を行った。 事業の対象となる施設の利用者数及び定期的にスポーツを行う市民の増加 (成果指標)

		指標名	単位	24年			25年度		26年度
		11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	中世	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活 (① 施設修繕(300千円以上)	件	1	1	2	4	200.0%	1
3	指 (2							
指揮	標(3							
憬	成	① 週1回以上スポーツをする市民の割合	%	35	27	40	33	82. 5%	40
	果指	② 対象スポーツ施設の利用者数	人	230, 000	191, 499	225, 000	218, 471	97. 1%	225, 500
	標(3							

	F //	W/ /I.	24年	F度		25年度		26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	1, 200, 000	1, 102, 920	5, 730, 000	5, 609, 100	408.6%	1, 000, 000
3	②委託料	円	110, 292, 000	110, 292, 000	120, 292, 000	118, 671, 000	7.6%	111, 826, 000
F	③工事請負費	円	4, 708, 200	4, 708, 200			-100.0%	230, 000, 000
P	④負担金補助及び交付金	円						
4	③その他	円						8, 834, 000
\exists	支出合計 (A)	巴	116, 200, 200	116, 103, 120	126, 022, 000	124, 280, 100	7.0%	351, 660, 000
ス	①国庫支出金	円						
	2県支出金	巴	4, 343, 000	4, 343, 000			-100.0%	
唐》	[③地方債	巴						97, 500, 000
	④その他(使用料、雑入等)	巴	570, 000	534, 695	570, 000	531, 876	-0.5%	106, 570, 000
TX E	③一般財源	巴	111, 287, 200	111, 225, 425	125, 452, 000	123, 748, 224	11. 3%	147, 590, 000
	収入合計	巴	116, 200, 200	116, 103, 120	126, 022, 000	124, 280, 100	7.0%	351, 660, 000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
个	②年間所要時間	時間	600	600	600	600	0.0%	600
3	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	2, 520, 000	2, 520, 000	2, 520, 000	2, 520, 000	0.0%	2, 520, 000
糸	費 用 (A+B)	円	118, 720, 200	118, 623, 120	128, 542, 000	126, 800, 100	6.9%	354, 180, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5 基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料を支払った。

取 総合体育館及び室内温水プールの耐震診断調査を実施、耐震性がないことが判明。 組 桃山陸上競技場について第2種公認を継続するための改修を26年度に行うこととし、改修のための助成金(スポーツ振興くじ助成 金)の申請を行った。

桃山運動公園内にある、大時計(野球場前)の改修工事、老朽化した花壇木柵(遊具広場)の撤去工事、及び落雷被害による高圧電 気設備の修繕をこなった。また運動広場上屋設置に伴う舗装復旧工事を行った。

評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目					内 🧵	容		
			自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗌	2 核	負討の余地	あり	□ 3	妥当でない
妥 当 性		Α	目的の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗌				□ 3	妥当でない
			対象の妥当性	√ 1		る 🗌	2 核	食討の余地	あり	□ 3	妥当でない
			目標達成度	1	高い	✓	2	目標どおり		□ 3	低い・未実施
有 効 性		Α	類似事業の有無	√ 1	なし				あり	□ 3	あり
			上位施策への貢献度	√ 1						□ 3	低い
			コスト効率	√ 1			2 힅	手通		□ 3	低い
効 率 性		Α	実施主体の適正化	√ 1	適正であ	る	2 改	女善の余地	りあり	□ 3	適正でない
				1		る	2 改	女善の余地 かんりょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	りあり	□ 3	適正でない
1 次評価		۸	現行どおり管理運営	きを行う	ことが適	0 冷部	Æ	不再			
(課長総括)		A	当			乙代計	ТЩ	个女			
後○証						⇒亚					
の課価公	共施設再編方	針にしたがじ	ヽ、総合体育館利用者	∮の学校:	統廃合後						
// / 1 (//1	体育館への移	行及び温水フ	プールの建て替えにつ	ついて検	討する必	% Т ПЩ					
針び船 要2	がある。					箱	ĺ				
~ 条 二	0					果					
	妥 有 性 分 本 性 次長 評価は 後の方方 公の方 後の方方 公の方	妥 当 性 有 効 性 効 率 性 1次評価(課長総括) 後課課価: 公共施設再編方 の体育館への移	妥 当 性 A 有 効 性 A 効 率 性 A 1 次評価 (課長総括) A 後課価 の体育館への移行及び温水フの体育館への移行及び温水フの体育館への移行及び温水フの体育館への移行及び温水フの体育館への移行及び温水フの体育館への移行及び温水フの体育館への移行及び温水フの体育館への移行及び温水フの体育館への移行及び温水フの体育館への移行及び温水フェーター	妥 当 性 A 自治体関与の妥当性 目的の妥当性 対象の妥当性 目標達成度 類似事業の有無 上位施策への貢献度 コスト効率 実施主体の適正化 負担割合の適正化 現行どおり管理運営 当 公共施設再編方針にしたがい、総合体育館利用 表 で の体育館への移行及び温水ブールの建て替えにて	妥 当 性 A 自治体関与の妥当性 □ 1 目的の妥当性 □ 1 対象の妥当性 □ 1 目標達成度 □ 1 類似事業の有無 □ 1 上位施策への貢献度 □ 1 コスト効率 ⊡ 1 実施主体の適正化 ⊡ 1 負担割合の適正化 ⊡ 1 現行どおり管理運営を行う 当 公共施設再編方針にしたがい、総合体育館利用者の学校の体育館への移行及び温水プールの建て替えについて検	妥 当 性 A 自治体関与の妥当性 ② 1 妥当であ 月 の妥当性 有 効 性 A 日標達成度 類似事業の有無 上位施策への貢献度 ② 1 高い 類似事業の有無 日本 効 率 性 A 第位 五名 ② 1 高い 五名 対 率 性 A 第位 負担割合の適正化 ② 1 適正であ 負担割合の適正化 1 次評価 (課長総括) ② 1 適正であ 現行どおり管理運営を行うことが適 当 公共施設再編方針にしたがい、総合体育館利用者の学校統廃合後 の体育館への移行及び温水プールの建て替えについて検討する必	妥 当 性 A 自治体関与の妥当性 ② 1 妥当である □ 財象の妥当性 ② 1 妥当である □ □ 対象の妥当性 ② 1 妥当である □ 有 効 性 A 類似事業の有無 ② 1 高い ② □	妥 当 性 A 自治体関与の妥当性 ② 1 妥当である ② 2 枝 対象の妥当性 有 効 性 A 日標達成度 ② 1 妥当である ② 2 枝 須象の妥当性 有 効 性 A 国標達成度 ③ 1 高い ② 2 枝 須収事業の有無 上位施策への貢献度 ② 1 高い ② 2 枝 須収事業の有無 ○ 1 高い ○ 2 枝 須収事業の有無 上位施策への貢献度 ② 1 高い ○ 2 積 須収事業のの重化 ○ 1 高い ○ 2 積 須収事業のの重化 ○ 1 高い ○ 2 積 須収事業の可能 ○ 2 積 収まままままままままままままままままままままままままままままままままま	妥当性 日治体関与の妥当性 □ 1 妥当である □ 2 検討の余地 目的の妥当性 □ 1 妥当である □ 2 検討の余地 対象の妥当性 □ 1 妥当である □ 2 検討の余地 有効性 日標達成度 □ 1 高い □ 2 目標どおり 類似事業の有無 □ 1 高い □ 2 普通 上位施策への貢献度 □ 1 高い □ 2 普通 コスト効率 □ 1 高い □ 2 普通 実施主体の適正化 □ 1 適正である □ 2 改善の余地 1 次評価(課長総括) 日標達成度 □ 1 高い □ 2 普通 現行どおり管理運営を行うことが適当 2 次評価 不要 後課所のの体育のの移行及び温水プールの建て替えについて検討する必 評価 の体育館への移行及び温水プールの建て替えについて検討する必 正の	妥 当 性 A 自治体関与の妥当性 ② 1 妥当である ② 2 検討の余地あり 対象の妥当性 有 効 性 A 日的の妥当性 ② 1 妥当である ② 2 検討の余地あり 対象の妥当性 有 効 性 A 類似事業の有無 ② 1 高い ② 2 目標どおり 類似事業の有無 上位施策への貢献度 ② 1 高い ② 2 検討の余地あり 上位施策への貢献度 ② 1 高い ② 2 養菌 コスト効率 ② 1 高い ② 2 普通 実施主体の適正化 ② 1 適正である ② 2 改善の余地あり 負担割合の適正化 ② 1 適正である ② 2 改善の余地あり 1 次評価(課長総括) A 現行どおり管理運営を行うことが適当 2 次評価 不要 ※ 》 ※ ※ ※ ※ 》 <td>妥当性 A 自治体関与の妥当性 ② 1 妥当である ② 2 検討の余地あり ③ 3 有効性 図1 妥当である ② 2 検討の余地あり ③ 3 有効性 図1 妥当である ② 2 検討の余地あり ③ 3 目標達成度 □ 1 高い ② 2 目標どおり □ 3 原位施策への貢献度 ② 1 高い □ 2 普通 □ 3 コスト効率 図 1 高い □ 2 普通 □ 3 コスト効率 図 1 高い □ 2 普通 □ 3 実施主体の適正化 図 1 適正である □ 2 改善の余地あり □ 3 1 次評価(課長総括) A 現行どおり管理運営を行うことが適当 2 次評価 不要 公共施設再編方針にしたがい、総合体育館利用者の学校統廃合後の体育館への移行及び温水プールの建て替えについて検討する必 評価 価価</td>	妥当性 A 自治体関与の妥当性 ② 1 妥当である ② 2 検討の余地あり ③ 3 有効性 図1 妥当である ② 2 検討の余地あり ③ 3 有効性 図1 妥当である ② 2 検討の余地あり ③ 3 目標達成度 □ 1 高い ② 2 目標どおり □ 3 原位施策への貢献度 ② 1 高い □ 2 普通 □ 3 コスト効率 図 1 高い □ 2 普通 □ 3 コスト効率 図 1 高い □ 2 普通 □ 3 実施主体の適正化 図 1 適正である □ 2 改善の余地あり □ 3 1 次評価(課長総括) A 現行どおり管理運営を行うことが適当 2 次評価 不要 公共施設再編方針にしたがい、総合体育館利用者の学校統廃合後の体育館への移行及び温水プールの建て替えについて検討する必 評価 価価